

〔資料〕

昭和女子大学図書館蔵

『狭衣物語』(卷三・卷四)

—— 解題・書影 ——

【解題】

- 一、昭和女子大学図書館蔵『狭衣物語』(和九一三・三八一)。春夏秋冬の四冊本。箱入り。
- 一、外題は、表表紙中央の題簽に卷三は「さ衣 秋」、卷四は「狭衣 冬」と記す。内題・奥書なし。
- 一、形態は、列帖装。縦二四・三糎、横一八・二糎。表表紙に玉井文庫のラベル貼付。なお旧所蔵者玉井幸助は昭和女子大学第二代学長。玉井氏逝去(昭和44(一九六九)年没)後、昭和47(一九七二)年3月に「玉井幸助文庫」を同図書館に設置。
- 一、書写年代は江戸期写。若干の虫損あり。料紙は斐紙(鳥の子)。卷三は、遊紙首一丁、尾五丁、墨付一七二丁。卷四は、遊紙首一丁、尾四丁、墨付一八一丁。本文書写は、卷三・四とも同筆で、一面一〇行、作中歌は改行し、二字下げ。
- 一、本文系統は、流布本系。なお同種の春夏秋冬本は、新潮日本古典集成(鈴木一雄校注)に活字化されている。
- 一、書影掲載に際し、縮尺約44%とした。
- 一、写真撮影は、同図書館派遣職員岸本美奈子による。



久下裕利

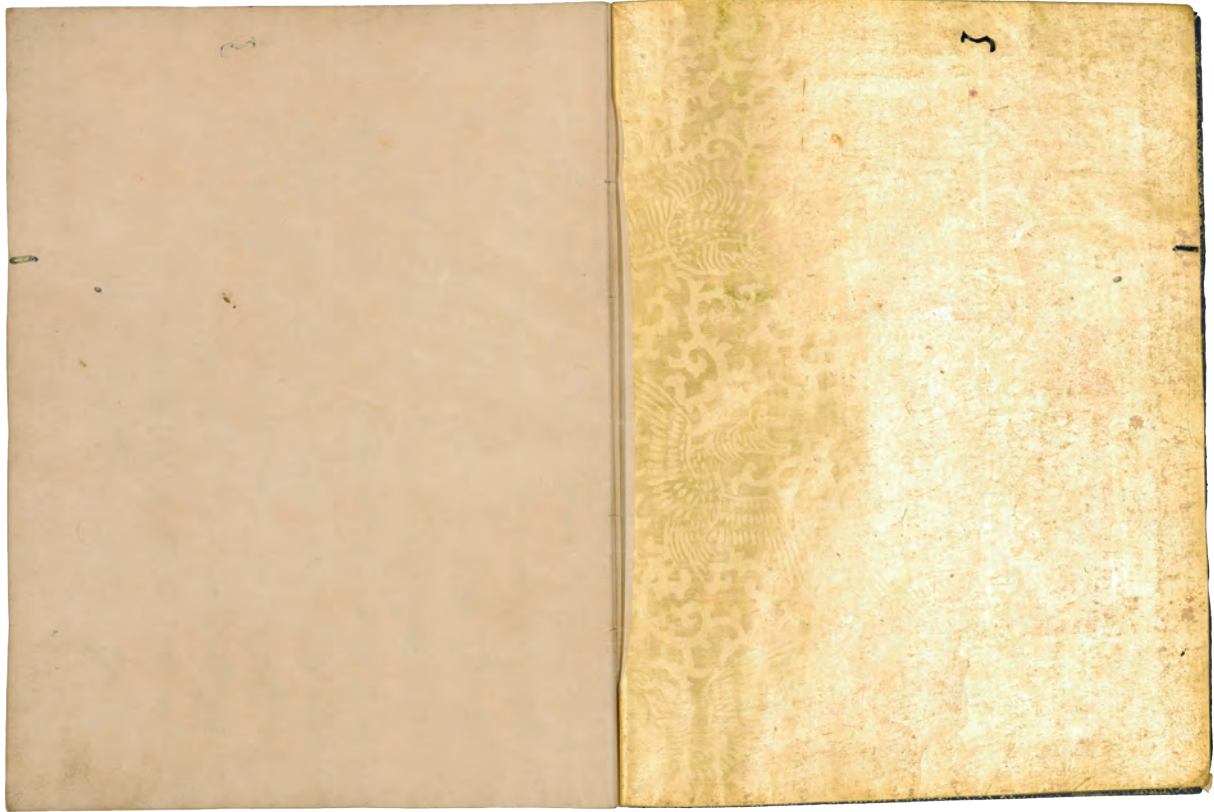
「さ衣 秋」書影



表表紙

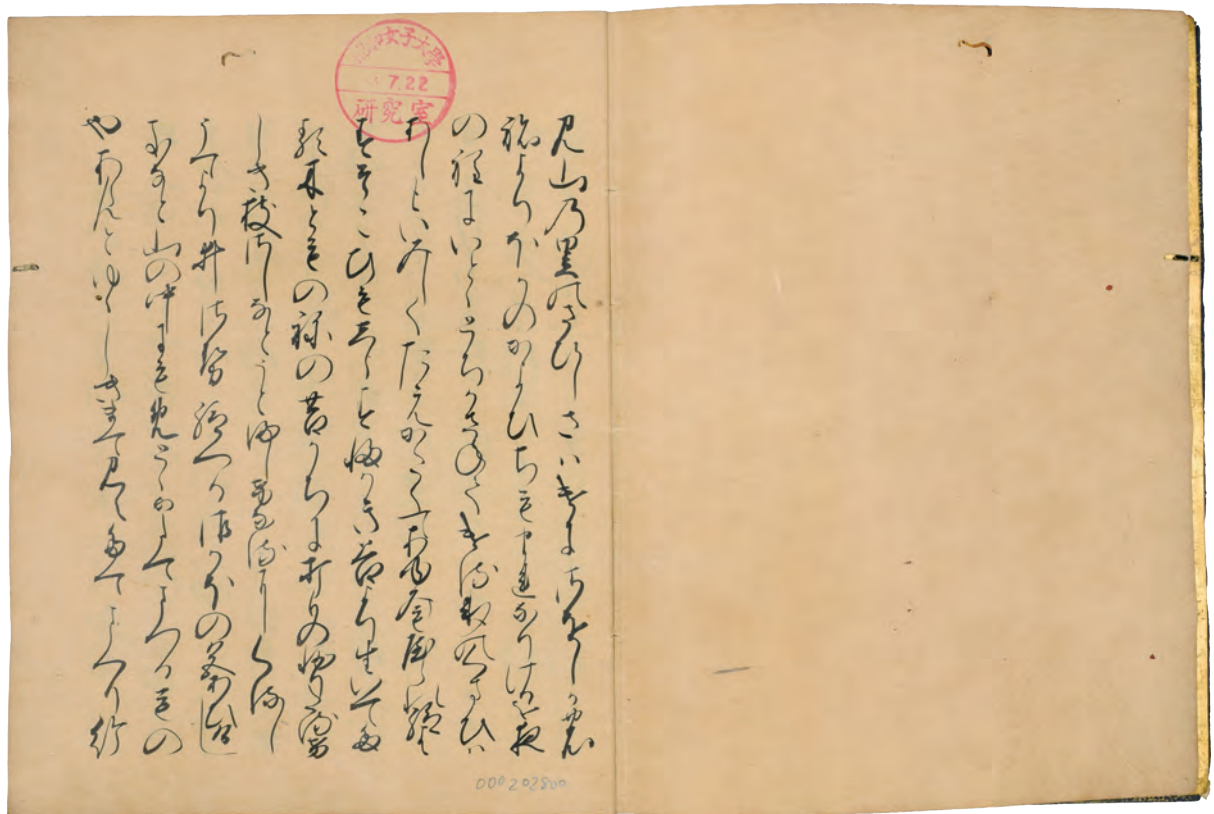


剝離した表表紙



遊紙1表

表表紙見返し



1才

遊紙1裏

まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ

24 オ

まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ

23 ウ

まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ

25 オ

まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ
まをわふし何しゆあきまりくはくは
まらうらうはねはあ人のうらうつ

24 ウ

せらよまの道にわたりつらとゆくろよめい
 てとわらうらうらあつりりあはかほ
 いはひもあまふと君ゆかりあまあり
 うらわ田んほほつらほほ母りあ
 先のわいとてまのわら田んうらなく
 えとくものときまねあつり又柳
 柳をよりわらやうきうれもみきれぬ
 ころとわらひねまやとくせらよあつり
 られと目らよぬわらりこはだわらわ
 しくとまねぬにらよまのあつり
 せらみゆらよせきほほつらよあつり
 ありつらよ二十一字とまよつらよ
 馬あまよつりつらよのあつりまねい
 うらつりんとにらつらよつらよ
 えつらよひつらよつらよねねつら
 今府のまねつらよつらよつらよ
 せらつらよつらよつらよつらよ
 らつらよつらよつらよつらよつら
 らつらよつらよつらよつらよつら
 せらつらよつらよつらよつらよつら

せらよまの道にわたりつらとゆくろよめい
 てとわらうらうらあつりりあはかほ
 いはひもあまふと君ゆかりあまあり
 うらわ田んほほつらほほ母りあ
 先のわいとてまのわら田んうらなく
 えとくものときまねあつり又柳
 柳をよりわらやうきうれもみきれぬ
 ころとわらひねまやとくせらよあつり
 られと目らよぬわらりこはだわらわ
 しくとまねぬにらよまのあつり
 せらみゆらよせきほほつらよあつり
 ありつらよ二十一字とまよつらよ
 馬あまよつりつらよのあつりまねい
 うらつりんとにらつらよつらよ
 えつらよひつらよつらよねねつら
 今府のまねつらよつらよつらよ
 せらつらよつらよつらよつらよ
 らつらよつらよつらよつらよつら
 らつらよつらよつらよつらよつら
 せらつらよつらよつらよつらよつら

せらよまの道にわたりつらとゆくろよめい
 てとわらうらうらあつりりあはかほ
 いはひもあまふと君ゆかりあまあり
 うらわ田んほほつらほほ母りあ
 先のわいとてまのわら田んうらなく
 えとくものときまねあつり又柳
 柳をよりわらやうきうれもみきれぬ
 ころとわらひねまやとくせらよあつり
 られと目らよぬわらりこはだわらわ
 しくとまねぬにらよまのあつり
 せらみゆらよせきほほつらよあつり
 ありつらよ二十一字とまよつらよ
 馬あまよつりつらよのあつりまねい
 うらつりんとにらつらよつらよ
 えつらよひつらよつらよねねつら
 今府のまねつらよつらよつらよ
 せらつらよつらよつらよつらよ
 らつらよつらよつらよつらよつら
 らつらよつらよつらよつらよつら
 せらつらよつらよつらよつらよつら

せらよまの道にわたりつらとゆくろよめい
 てとわらうらうらあつりりあはかほ
 いはひもあまふと君ゆかりあまあり
 うらわ田んほほつらほほ母りあ
 先のわいとてまのわら田んうらなく
 えとくものときまねあつり又柳
 柳をよりわらやうきうれもみきれぬ
 ころとわらひねまやとくせらよあつり
 られと目らよぬわらりこはだわらわ
 しくとまねぬにらよまのあつり
 せらみゆらよせきほほつらよあつり
 ありつらよ二十一字とまよつらよ
 馬あまよつりつらよのあつりまねい
 うらつりんとにらつらよつらよ
 えつらよひつらよつらよねねつら
 今府のまねつらよつらよつらよ
 せらつらよつらよつらよつらよ
 らつらよつらよつらよつらよつら
 らつらよつらよつらよつらよつら
 せらつらよつらよつらよつらよつら

やうらうらだふにけふあつても多人の
 まれとてしうはもやいひのまほ
 悪のみらうの程中へつゝの酒を飲むも
 大まかといふはさうさうはさうさうは
 酒はさうさうあつてもいひのまほ
 さいらうさうさうあつてもいひのまほ
 まきみさうさうあつてもいひのまほ
 いささうさうさうあつてもいひのまほ
 さうの酒人あつてもいひのまほ
 此の酒人あつてもいひのまほ
 酒をつれどもいひのまほ
 中酒のいひのまほ
 酒をつれどもいひのまほ
 酒をつれどもいひのまほ
 酒をつれどもいひのまほ
 酒をつれどもいひのまほ

前の利由は酒造の利由とあるが
 り酒造といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが
 利由といふは酒造の利由とあるが

ありきんは仲いふ所とくつやとま
 せうのあつきののりもれしけり
 りきよはらういしほくらをまひり
 てみらしをよしひれくろくろく
 ひたふよまのりともやいし
 としれいしきうれしれしよといと志のひて
 意図してはくくあしひのま乃れさうま
 えるは兼行ひくくろくろく
 の年がゆつろくあつてま
 くいみまはたりくつあはれは
 祐よわひらふをふりて
 けりいふあつてま世のついで
 てまといしきまはらう
 しきひきまはらう
 まはらういし
 かしきまはらう

34 オ

33 ウ

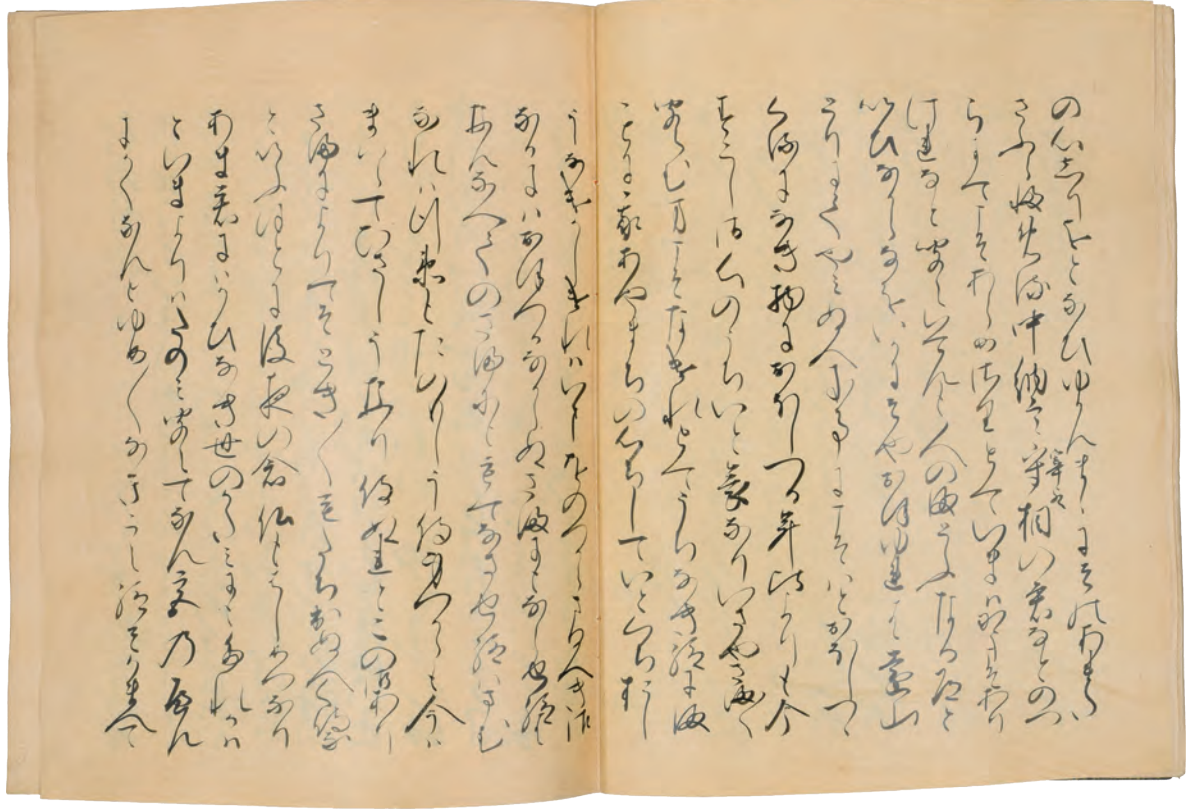
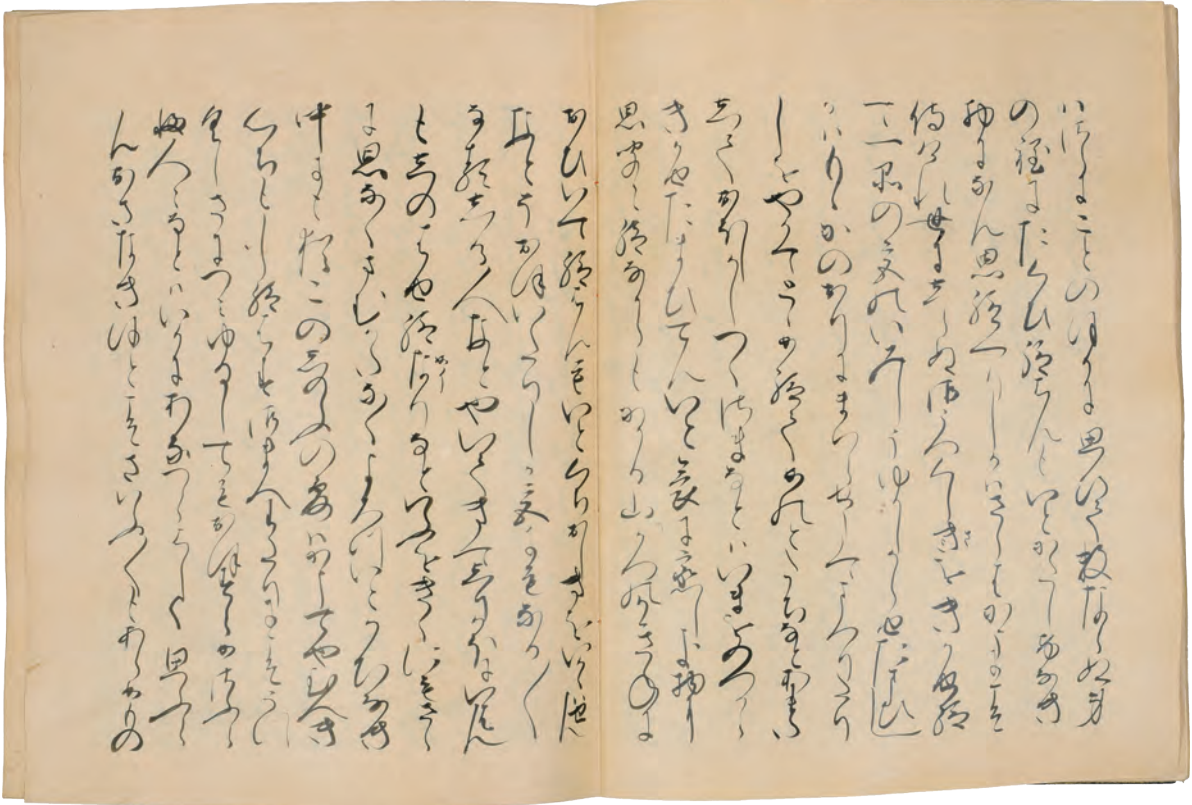
ありきんは仲いふ所とくつやとま
 せうのあつきののりもれしけり
 りきよはらういしほくらをまひり
 てみらしをよしひれくろくろく
 ひたふよまのりともやいし
 としれいしきうれしれしよといと志のひて
 意図してはくくあしひのま乃れさうま
 えるは兼行ひくくろくろく
 の年がゆつろくあつてま
 くいみまはたりくつあはれは
 祐よわひらふをふりて
 けりいふあつてま世のついで
 てまといしきまはらう
 しきひきまはらう
 まはらういし
 かしきまはらう

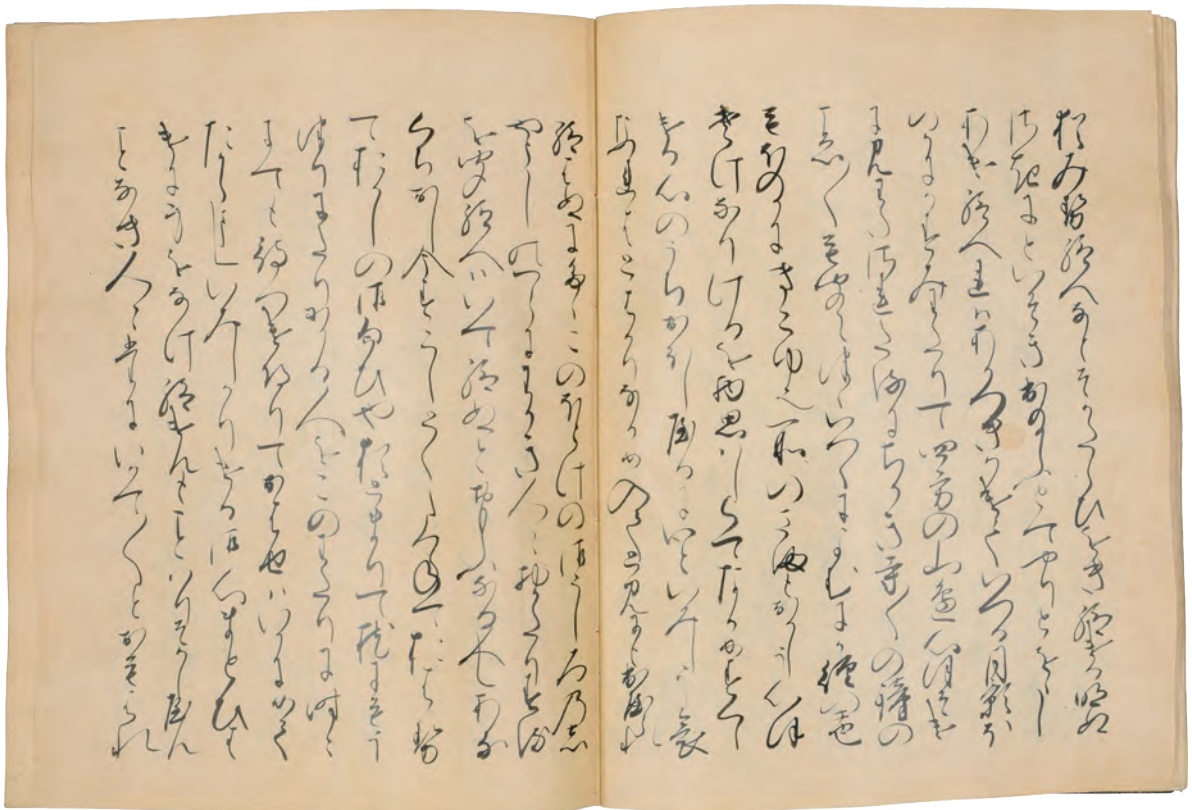
35 オ

34 ウ

物もあつていふべき事もいふべき事
 らもいふべからずの事よき事よき事
 ともいふべからずの事よき事よき事
 ぬけまじりおかしき事よき事よき事
 の事よき事よき事よき事よき事
 らもいふべからずの事よき事よき事
 ともいふべからずの事よき事よき事
 ぬけまじりおかしき事よき事よき事
 の事よき事よき事よき事よき事
 らもいふべからずの事よき事よき事
 ともいふべからずの事よき事よき事
 ぬけまじりおかしき事よき事よき事
 の事よき事よき事よき事よき事

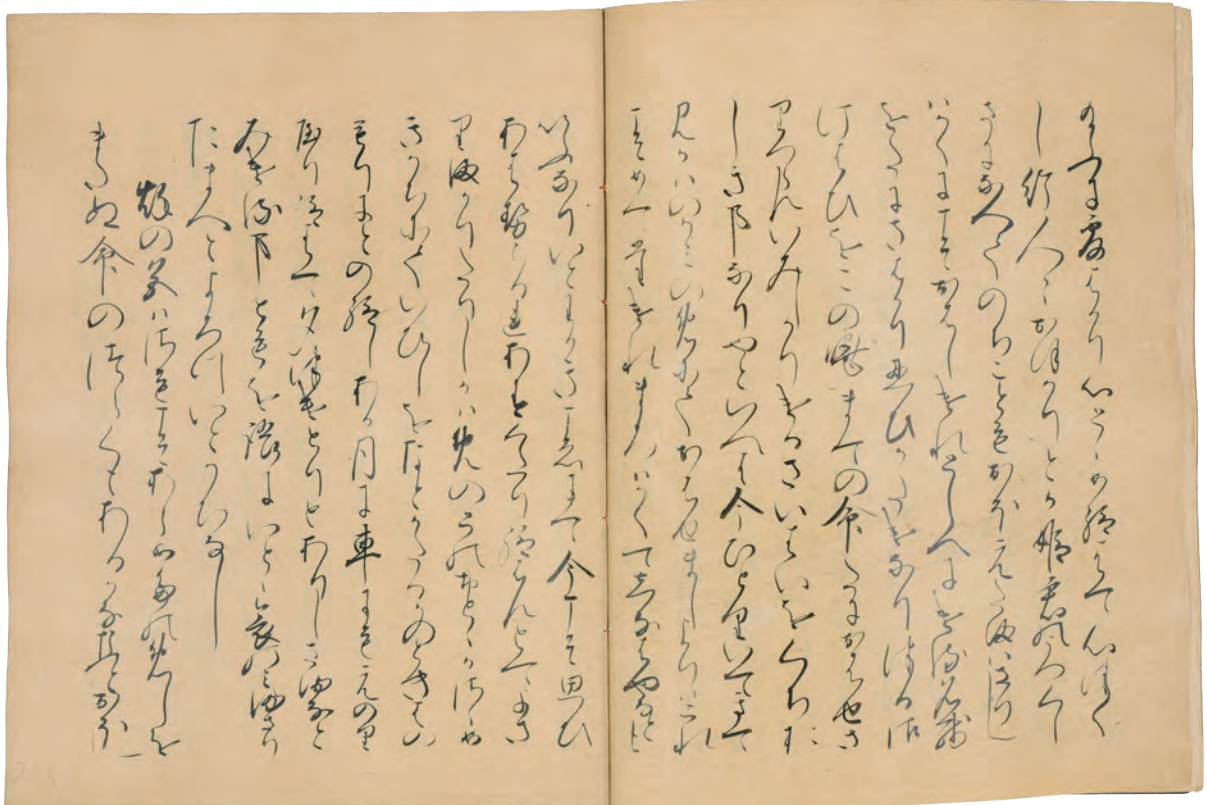
申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか
 じりあつて申すはつげつらのうらをまじりていふか





42 オ

41 ウ



43 オ

42 ウ

ほい。念佛の志。一のまてつる。は
やうし。人。一のまてつる。は
他。え。の。ま。て。つ。る。は。何。事
連。得。成。佛。の。ま。て。つ。る。は。何。事
ら。ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は

わい。佛。の。ま。て。つ。る。は。何。事
ら。ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は
ま。て。つ。る。は。何。事。と。い。ふ。は

大慶のいふことごとくいふにゆきては
この世の人とさういふいふにゆきては
ふかき世の人のはじめとあはれいふにゆ
つては世のまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに

この世のいふことごとくいふにゆきては
この世の人とさういふいふにゆきては
ふかき世の人のはじめとあはれいふにゆ
つては世のまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに
ゆきてはまじりゆくものもあらひいふに

中の人の中をうろつきぬてくま
 人の中へまかせんをさうらうと
 かしこいことありくくくくく
 と通ちらう袖をぬくはまをぬく
 男のくちしめくくくくくくく
 とくくくくくくくくくくく
 そけいさゆきやうくくくくく
 月よきまのくくくくくくく
 下きくくくくくくくくくく

中の人の中をうろつきぬてくま
 人の中へまかせんをさうらうと
 かしこいことありくくくくく
 と通ちらう袖をぬくはまをぬく
 男のくちしめくくくくくくく
 とくくくくくくくくくくく
 そけいさゆきやうくくくくく
 月よきまのくくくくくくく
 下きくくくくくくくくくく

中の人の中をうろつきぬてくま
 人の中へまかせんをさうらうと
 かしこいことありくくくくく
 と通ちらう袖をぬくはまをぬく
 男のくちしめくくくくくくく
 とくくくくくくくくくくく
 そけいさゆきやうくくくくく
 月よきまのくくくくくくく
 下きくくくくくくくくくく

中の人の中をうろつきぬてくま
 人の中へまかせんをさうらうと
 かしこいことありくくくくく
 と通ちらう袖をぬくはまをぬく
 男のくちしめくくくくくくく
 とくくくくくくくくくくく
 そけいさゆきやうくくくくく
 月よきまのくくくくくくく
 下きくくくくくくくくくく

いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし
いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし

やきよきあはれし
かひぬくろのまのいふよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし
いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし

いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし
いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし

いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし
いふにんれはるるをよきよきあはれし
世もまあちりよかひのうらみさすの
しよ世のあつりせんをわがしらは思ひ
て人よと下ぬめらのことよいふがれ
友のうまのうらみさすりげらよきよき
よかひせんと思ふよきよきあはれし

いさなりしまはらとめきつーと思ひ出
しうまにあくくうーとまをまあ
うにせうーとらぶおぼつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文
思ひ出らうとまをまあつるまうり文

52 オ

わらわのいひかたにきく後はいじりくら
りといふきよはらりおのすしなわら
りよはらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす

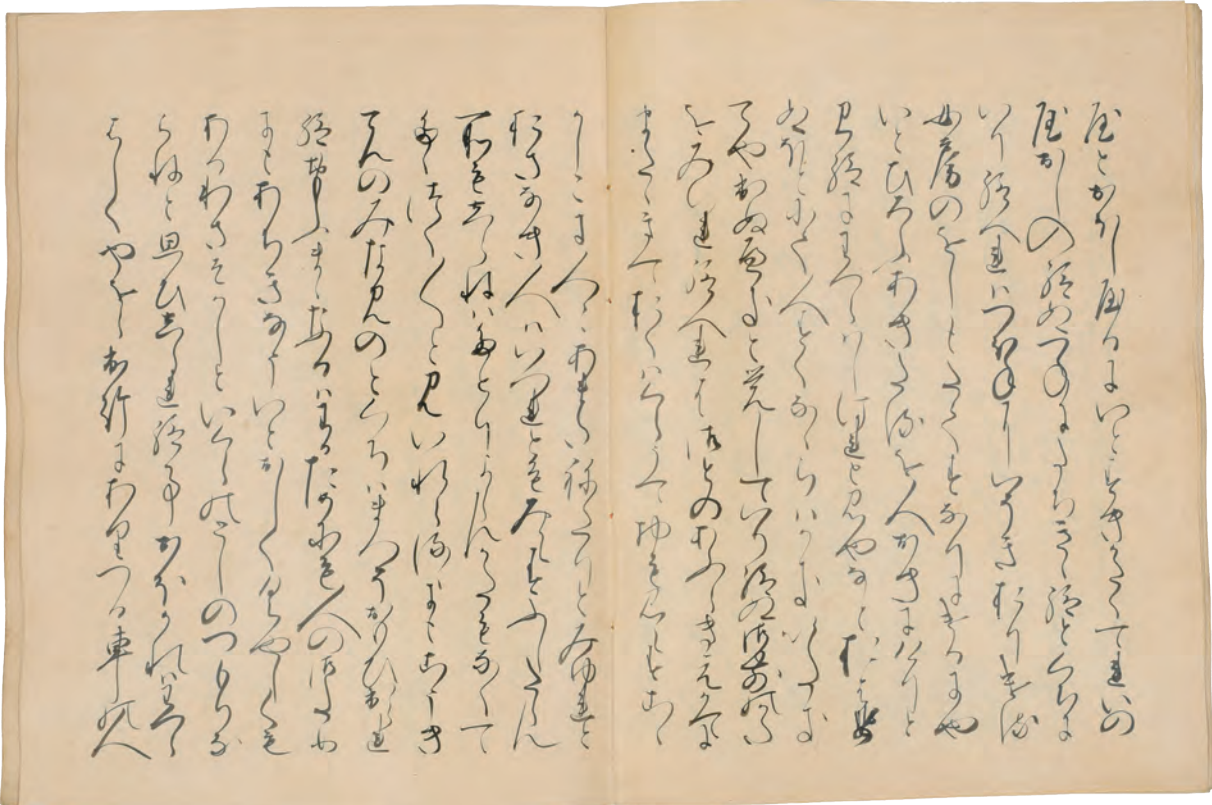
51 ウ

わらわのいひかたにきく後はいじりくら
りといふきよはらりおのすしなわら
りよはらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす

53 オ

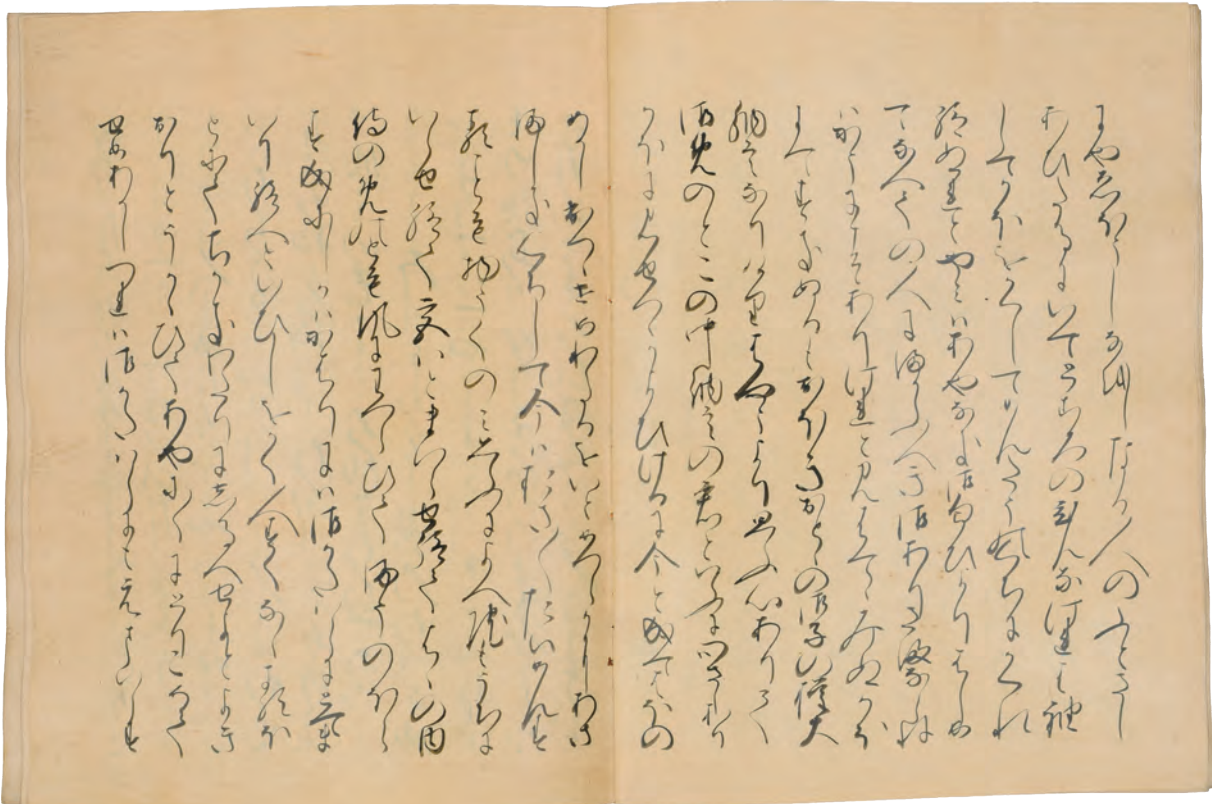
わらわのいひかたにきく後はいじりくら
りといふきよはらりおのすしなわら
りよはらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす
しなわらりといふきよはらりおのす

52 ウ



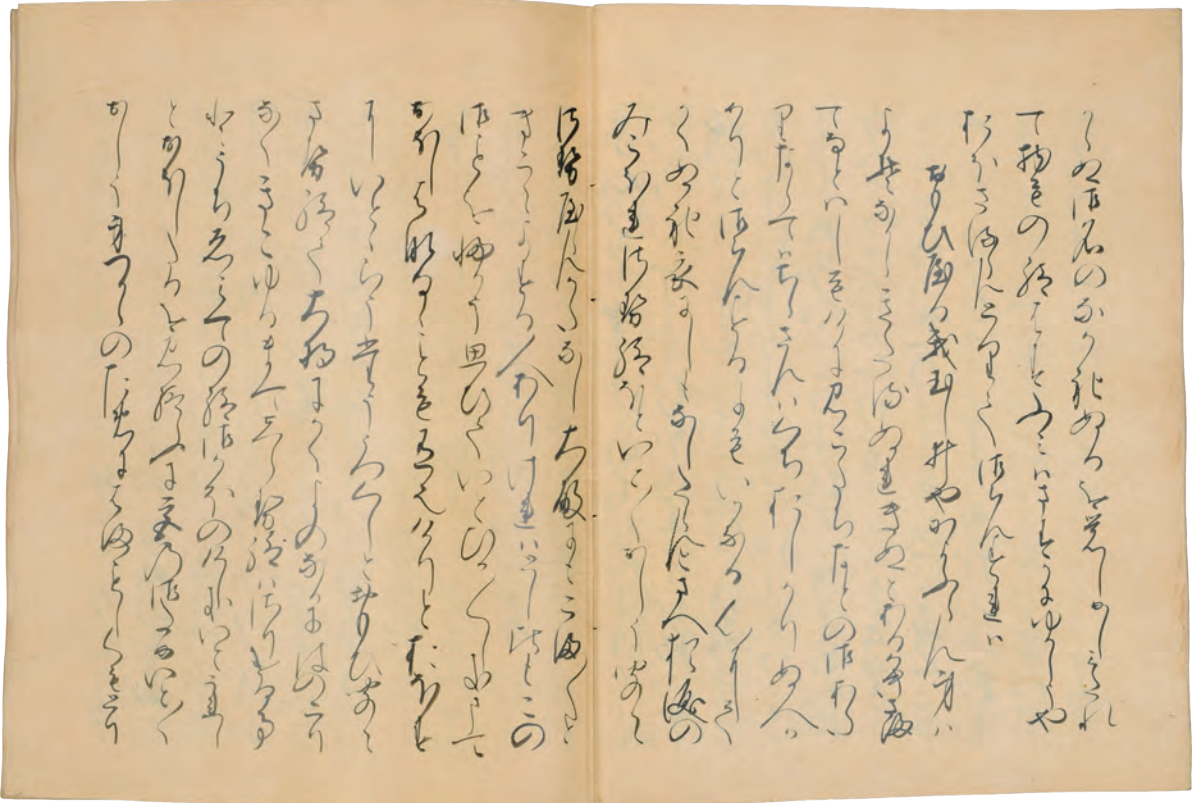
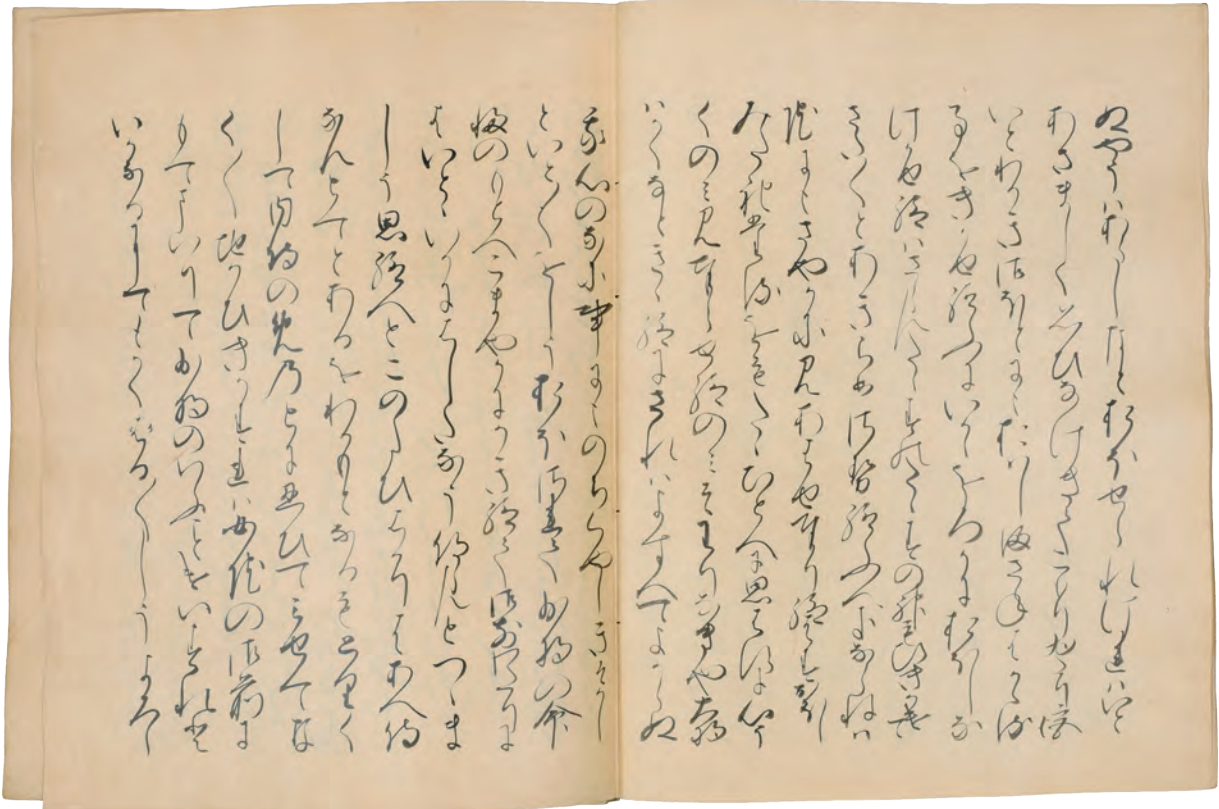
56 オ

55 ウ



57 オ

56 ウ

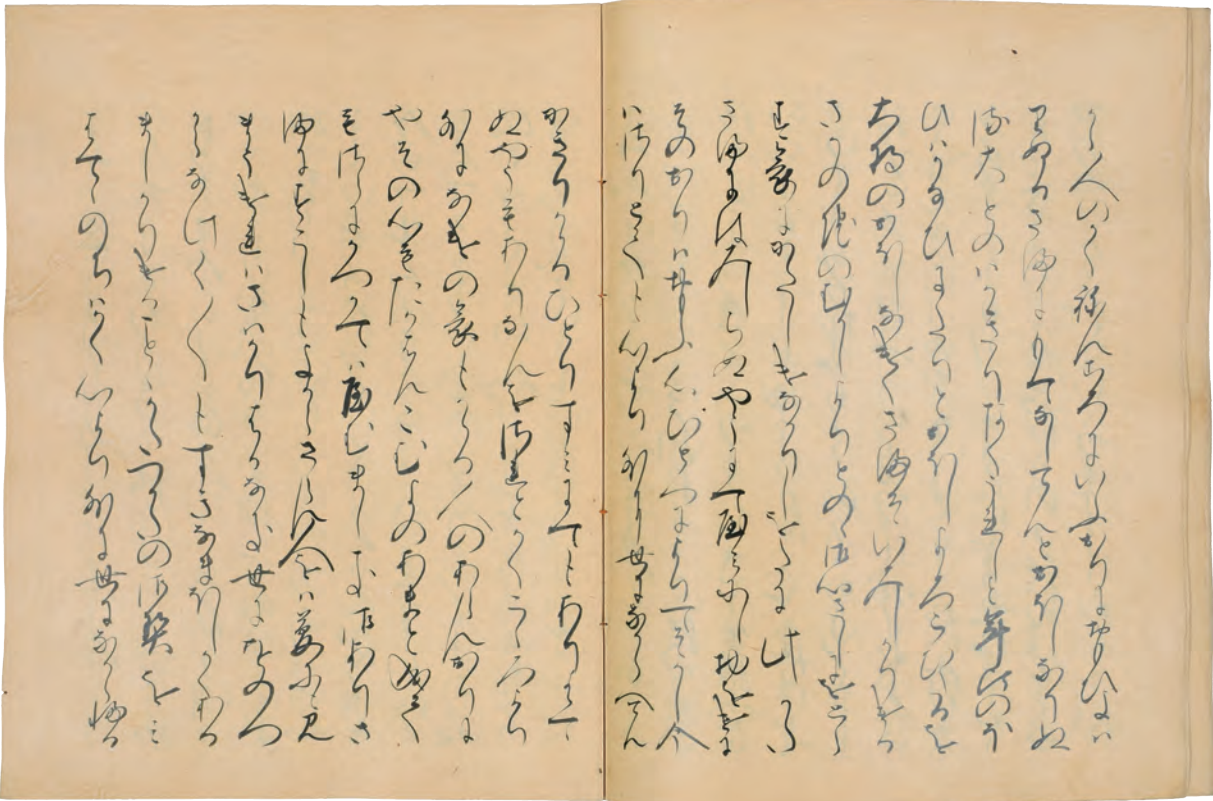


たしと申すは... 人の地い

たしと申すは... 人の地い

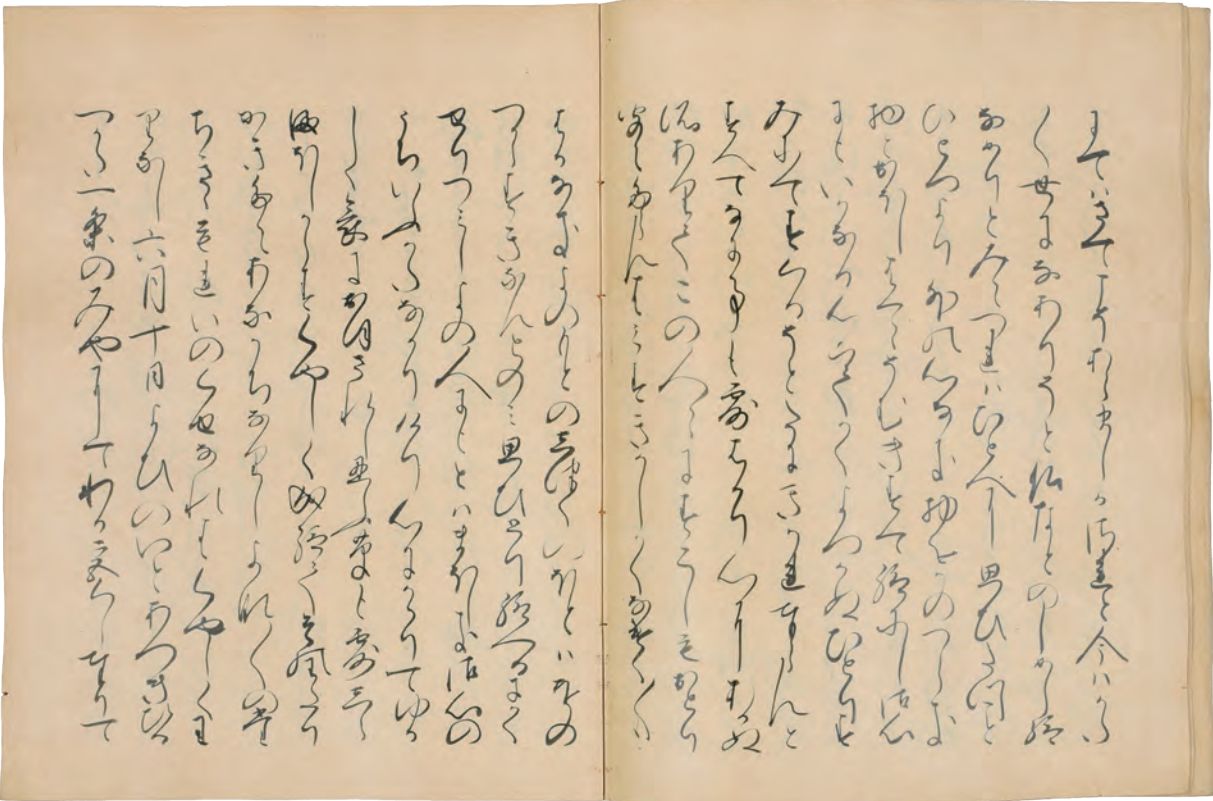
い海とあり... 人の地い

い海とあり... 人の地い



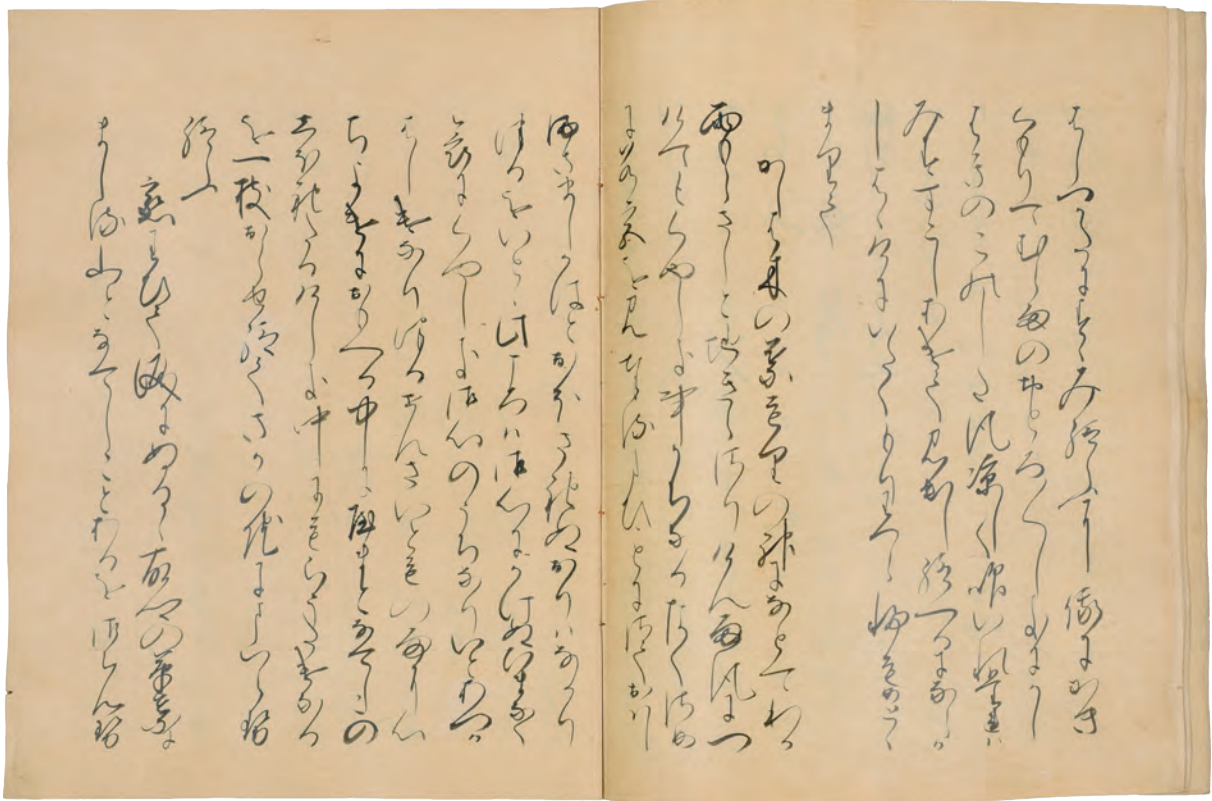
68 オ

67 ウ



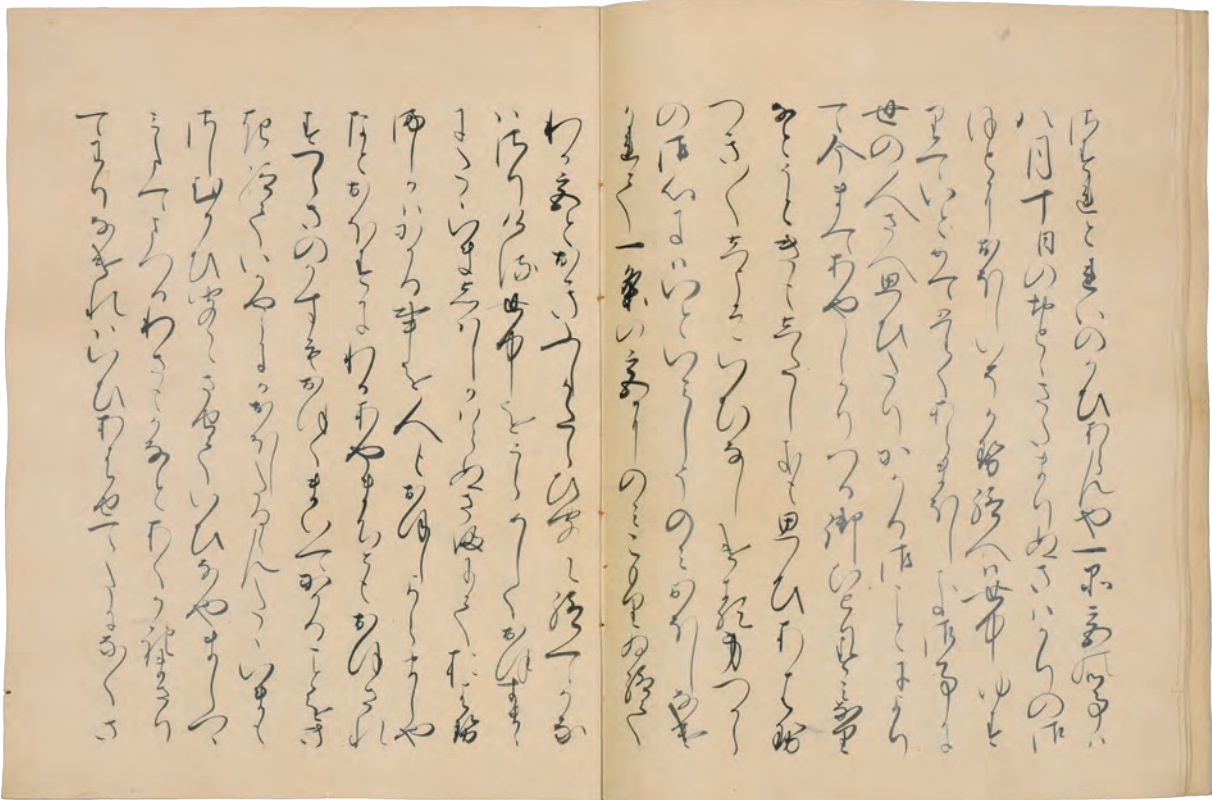
69 オ

68 ウ



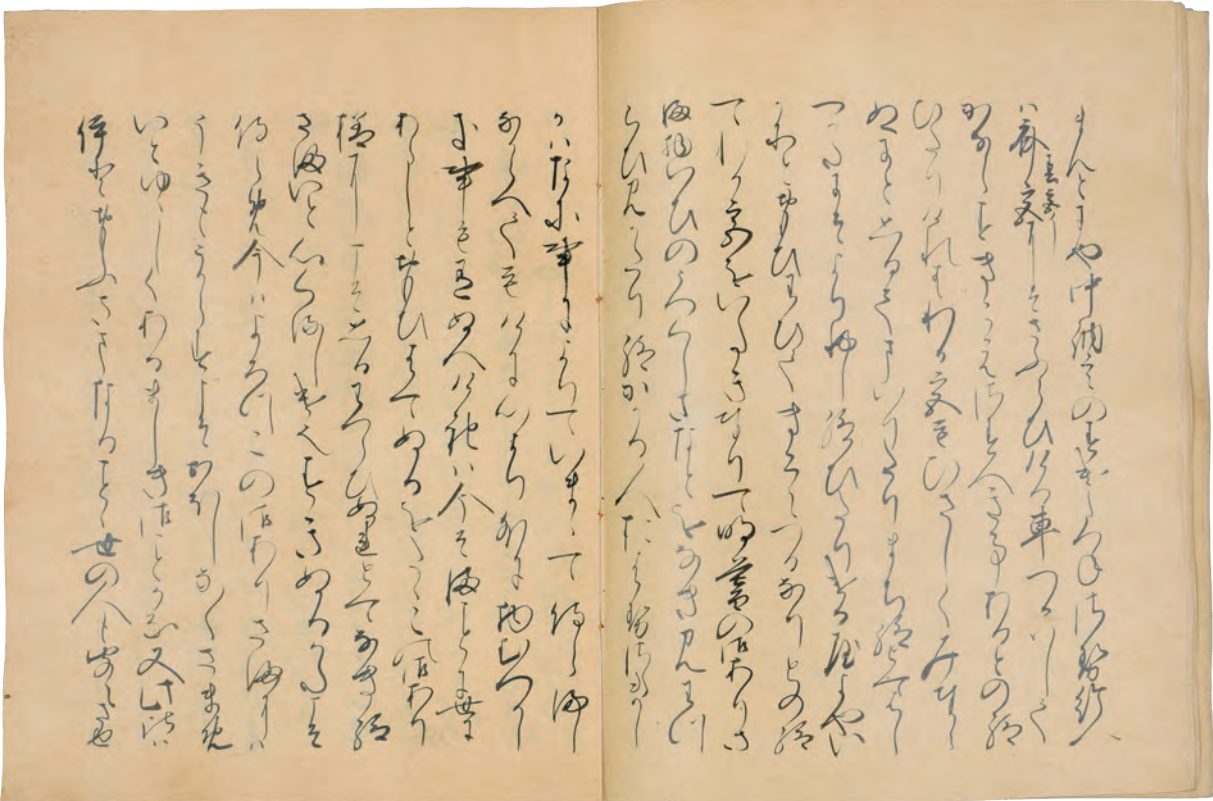
70 オ

69 ウ



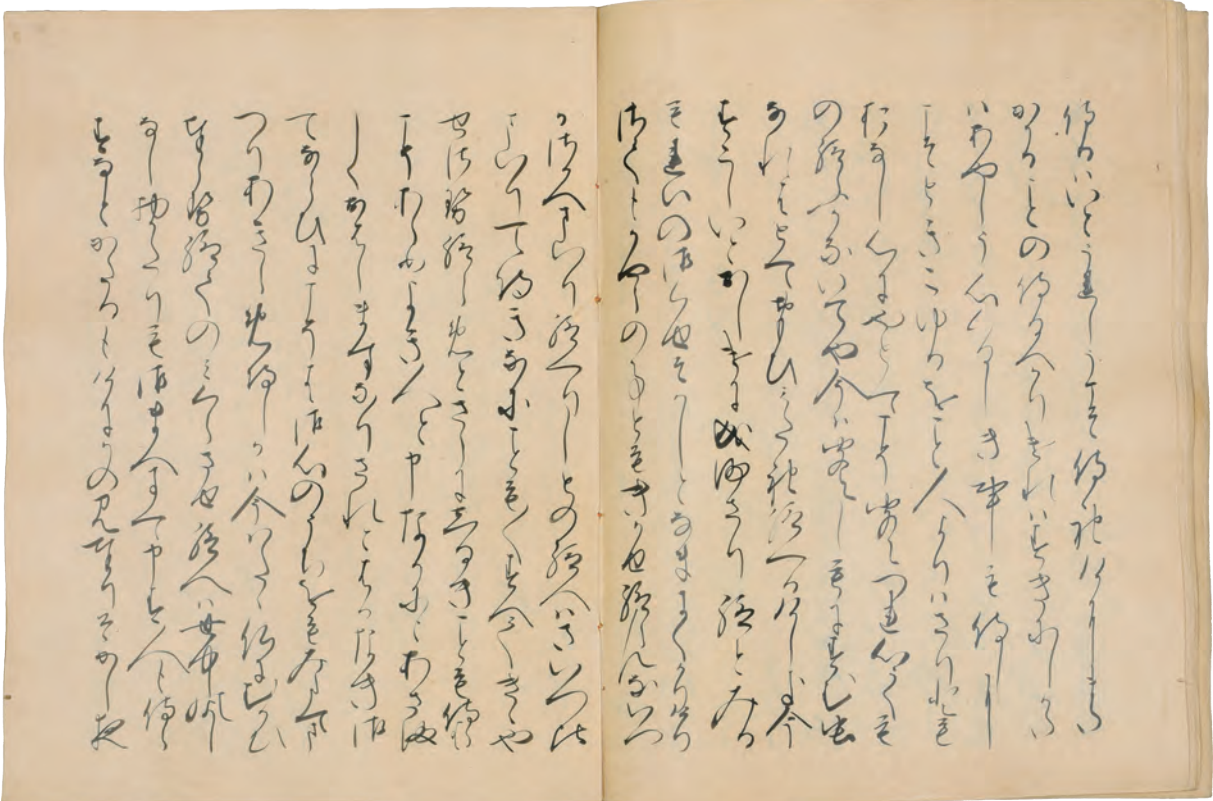
71 オ

70 ウ



72 オ

71 ウ



73 オ

72 ウ

の事とまじり思ひおこしはつゝとの御
耳かのこゝろいんとありし一し
なふらきりらり一し
よ御あらひきと一しのら一し
あくるりくあはけりいゝこの地のか
ゆきなり一し
あふとふしひのこゝろいゝ
かふ事のりつゝ
あはたの思ひ一し

いれり一し
こゆき一し
あふとふしひのこゝろいゝ
あはたの思ひ一し
あふとふしひのこゝろいゝ
あはたの思ひ一し

77ウ
 ちよとてゆきあがりうのたしとちあ
 まるまのたしとゆきあがりてあな
 しの介子とあひあがりてあな
 らうひゆきあがりてあな
 ぼくろあがりてあな
 てあなあがりてあな
 つかうらがりてあな
 ーさうらがりてあな

78オ
 ちよとてゆきあがりうのたしとちあ
 まるまのたしとゆきあがりてあな
 しの介子とあひあがりてあな
 らうひゆきあがりてあな
 ぼくろあがりてあな
 てあなあがりてあな
 つかうらがりてあな
 ーさうらがりてあな

78ウ
 ちよとてゆきあがりうのたしとちあ
 まるまのたしとゆきあがりてあな
 しの介子とあひあがりてあな
 らうひゆきあがりてあな
 ぼくろあがりてあな
 てあなあがりてあな
 つかうらがりてあな
 ーさうらがりてあな

79オ
 ちよとてゆきあがりうのたしとちあ
 まるまのたしとゆきあがりてあな
 しの介子とあひあがりてあな
 らうひゆきあがりてあな
 ぼくろあがりてあな
 てあなあがりてあな
 つかうらがりてあな
 ーさうらがりてあな

Handwritten Japanese text in two columns on a single page, likely page 79. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes characters such as 'あはれ', 'あまの', and 'あまの', possibly related to the title 'Amatsumori'.

Handwritten Japanese text in two columns on a single page, likely page 80. The text continues in the same cursive style and includes characters such as 'あまの', 'あまの', and 'あまの'.

今もさうしてさういふものも
 一々北は海にひびくはもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの

84 オ

ほろひはさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの

83 ウ

さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの

85 オ

さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの
 さいふらめまゝにさういふもの

84 ウ

102 オ
 101 ウ

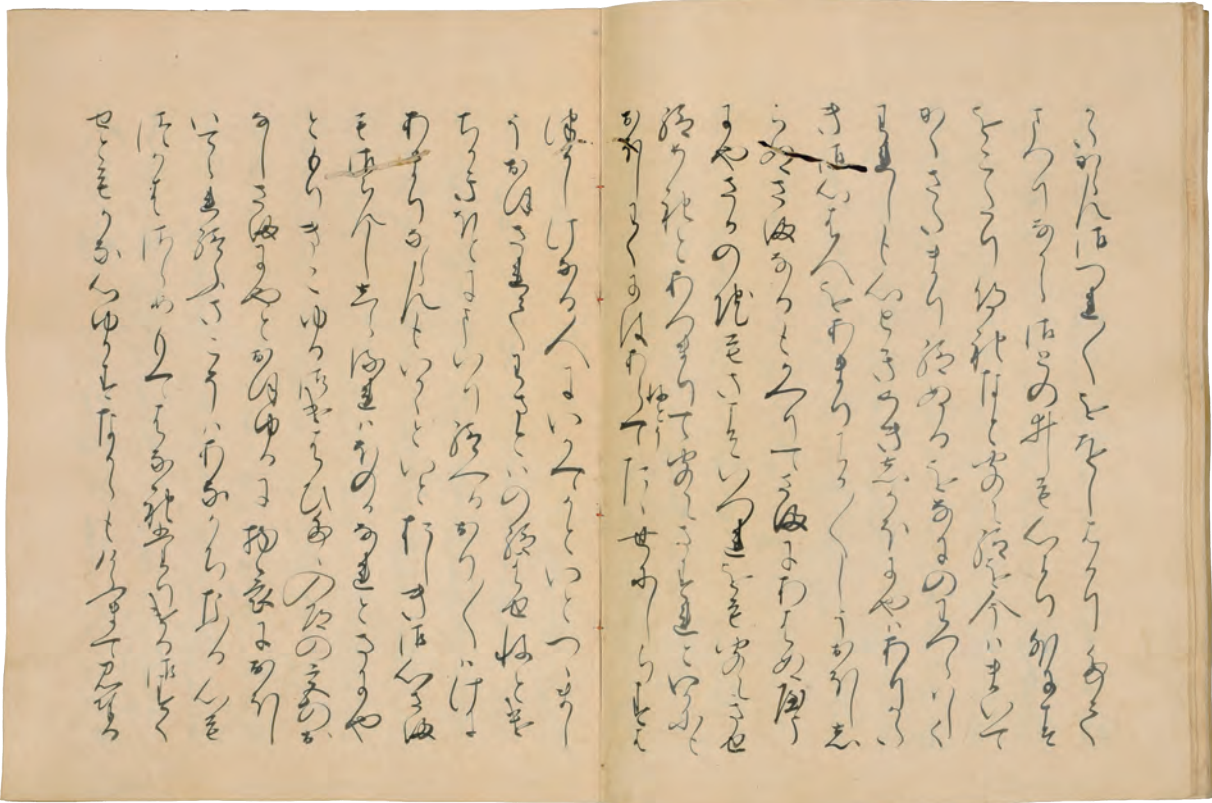
103 オ
 102 ウ

りすのひらりわさきりりまの
はるゆはちわさやううううう
つらつらうううううのゆーまき
そくくくくくくくくくくくく
の正心のらうううううううう
くくくくくくくくくくくく
まうまうまうまうまうまうま
とてまうまうまうまうまうま
角ううううううううううう
りまうまうまうまうまうま

きうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう

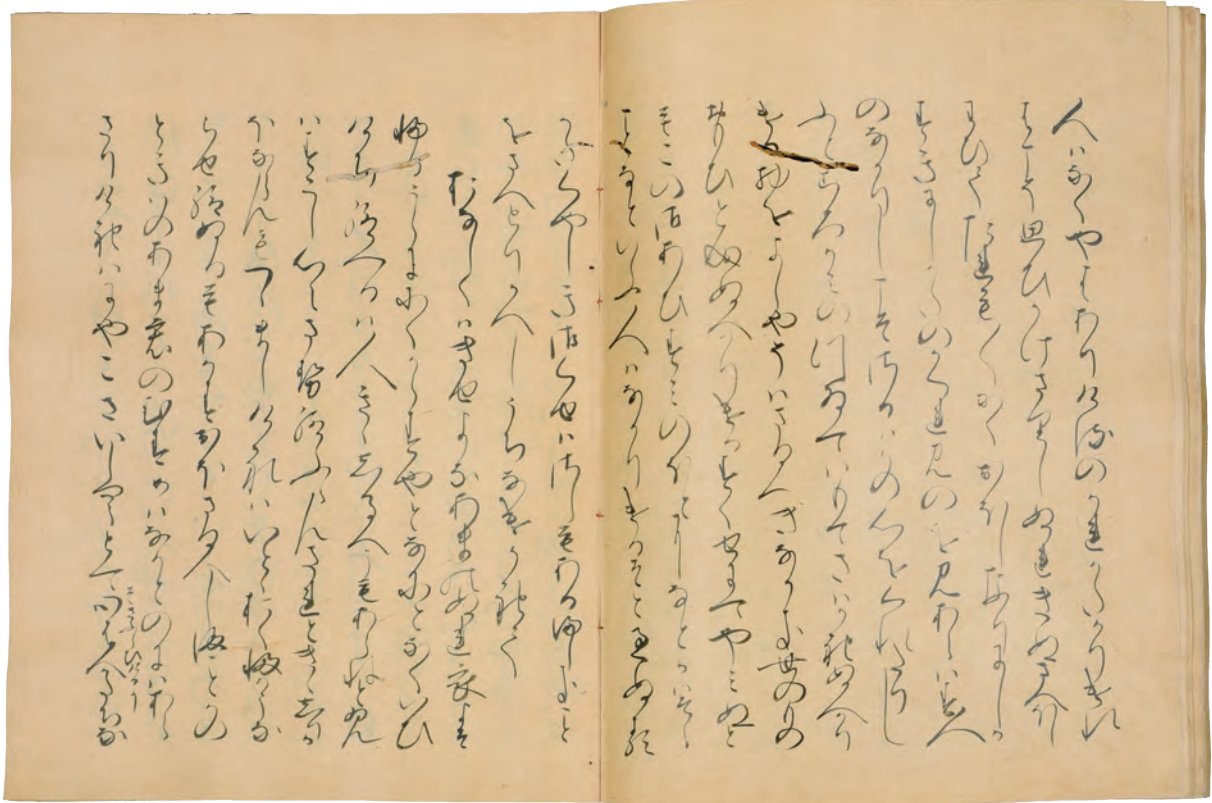
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう

まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう
まうまうまうまうまうまう



108 オ

107 ウ



109 オ

108 ウ

はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ
はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ

112 オ

はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ
はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ

111 ウ

はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ
はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ

113 オ

はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ
はつとる正むといふこの神くらきとゆかく
といふ神あつらきさうはしよあゆりよはし
のまらまらばらゆさすはすよりいふ

112 ウ

てつりてつるへきゆり馬ひをえ
 ちてつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今

してつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今

ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今

ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今
 ちぬきつるよこちりつと今

人たのうあねるりーとわりけれ
 西との系をばやうのやうにうか
 とろ山ねのうらーねさけとてわら
 あー井ーにわりをえしけりも
 海と見くまふいーいさーとては
 んんらうとくうーとてさくさく
 の子ゆさけりもやあーあーあ
 とみくーとてつとてそののり
 ーみえあさぬ

118 オ

ねりーとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 ーとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 んとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 じわわりのねりさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 西の系をばやうのやうにうか
 とろ山ねのうらーねさけとてわら
 あー井ーにわりをえしけりも
 海と見くまふいーいさーとては
 んんらうとくうーとてさくさく
 の子ゆさけりもやあーあーあ
 とみくーとてつとてそののり
 ーみえあさぬ

117 ウ

ねりーとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 ーとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 んとてさくさくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 じわわりのねりさくさくさくさくさくさくさくさくさく
 西の系をばやうのやうにうか
 とろ山ねのうらーねさけとてわら
 あー井ーにわりをえしけりも
 海と見くまふいーいさーとては
 んんらうとくうーとてさくさく
 の子ゆさけりもやあーあーあ
 とみくーとてつとてそののり
 ーみえあさぬ

119 オ

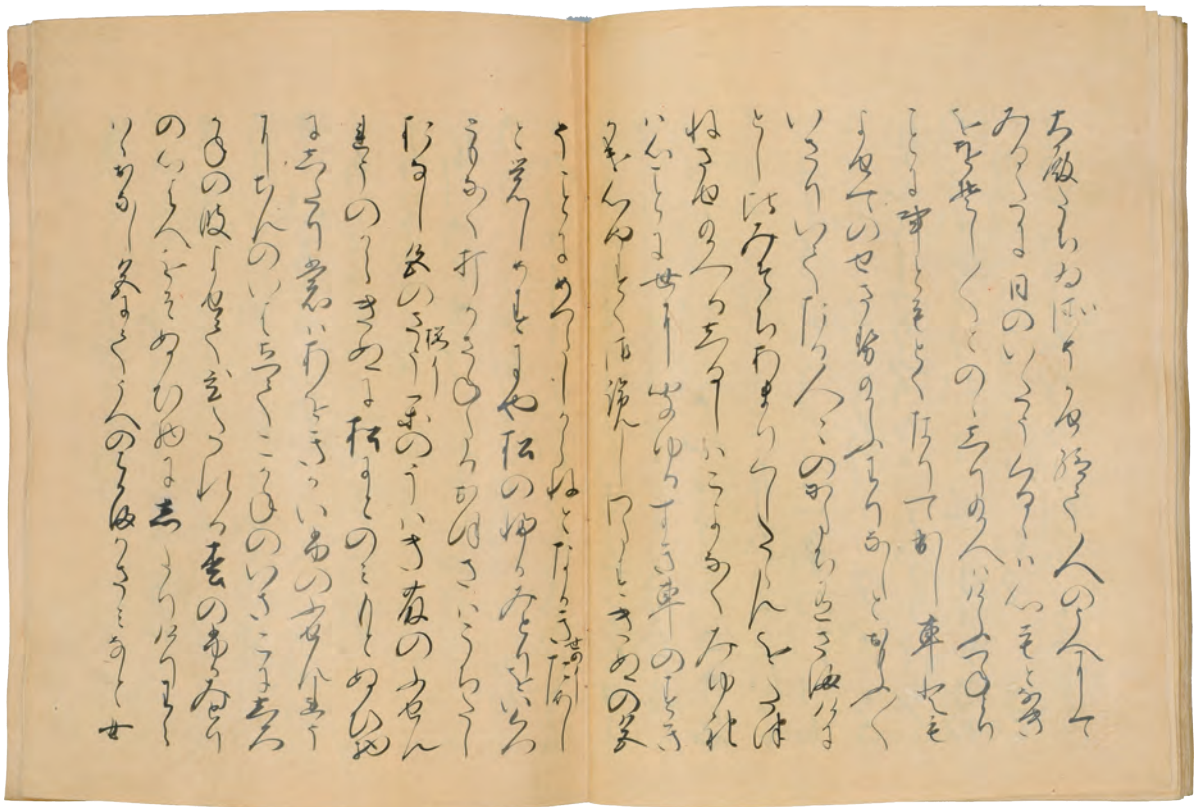
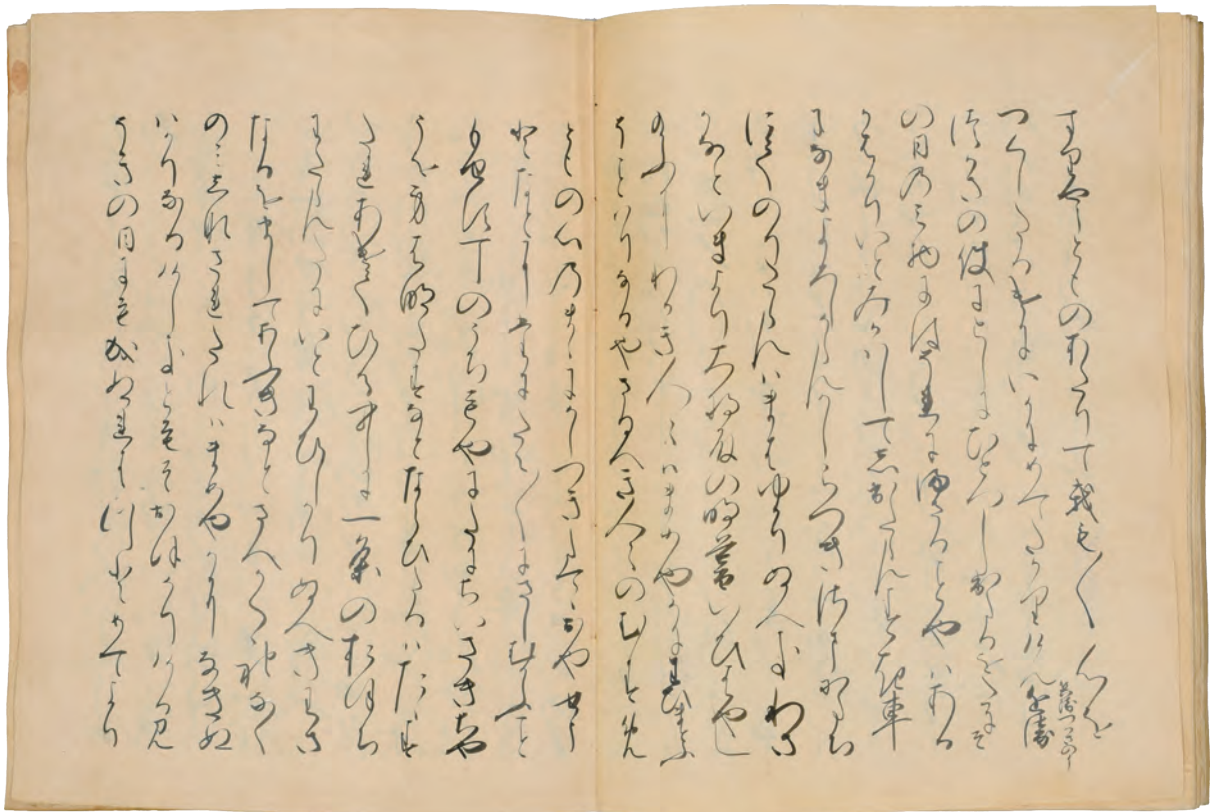
118 ウ

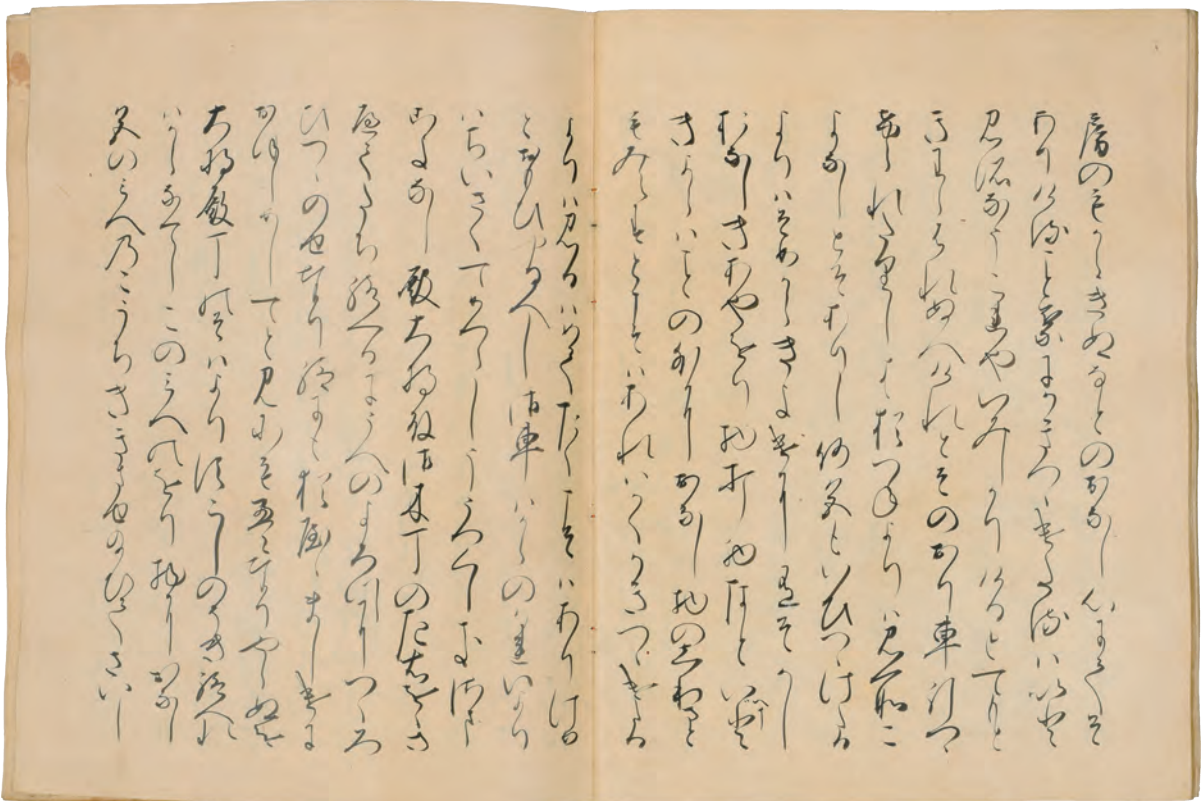
一の質をのころり、今ならさぬと
 は申すゆとり、一男ひいて、たしていざ
 登ふよ、まじり、二條の、ちね、ちね、ちね
 きもの、たう、ちね、ちね、ちね、ちね
 うさ、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 一、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 の、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 く、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね

人、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ら、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね

ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね

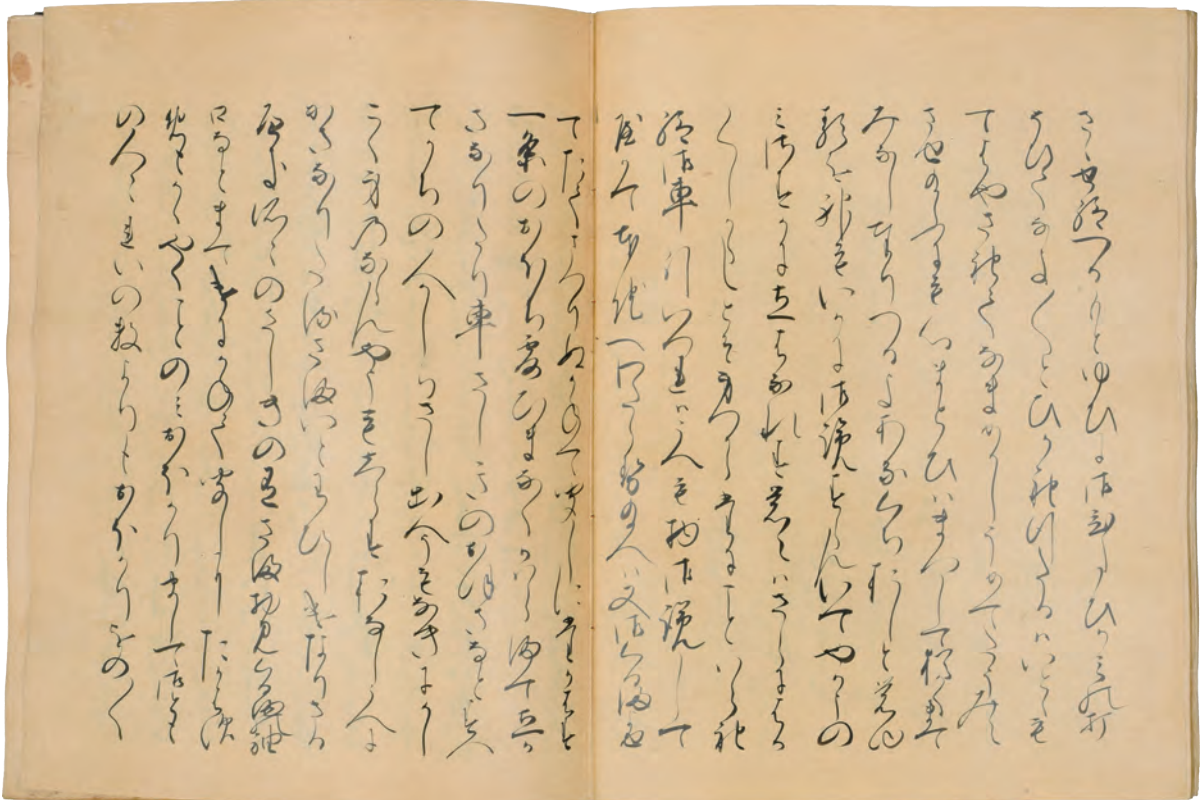
ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね
 ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね、ちね





124 オ

123 ウ



125 オ

124 ウ

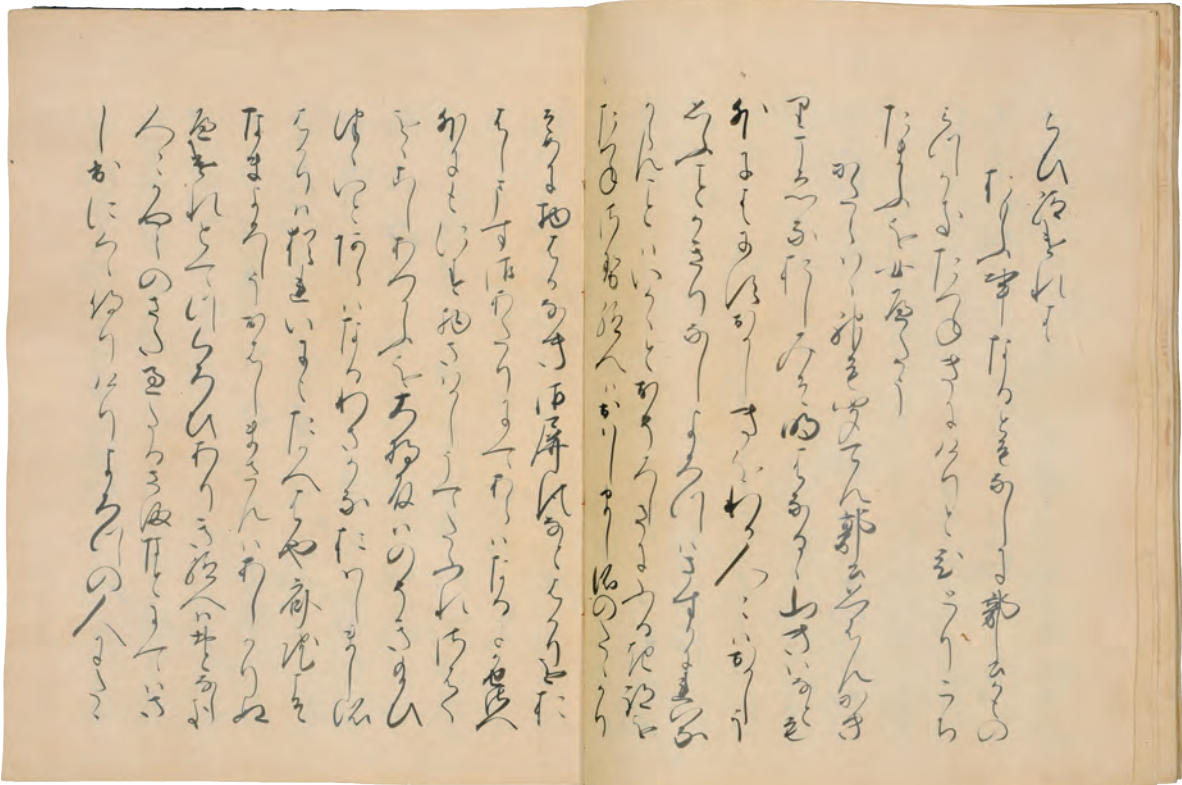
六の女おきく一せんち御子の西子よ
 わさくらうらなは海にたづなり浮た
 一や千日のみつと御子のつらみ
 月影の角の向の戸はよりたつて御
 思ひや入し入る人なれど

神のちきりし人ひうさるひつひつひ
 ひつひつひつひつひつひつひつひ
 なる事しはふたなりつらみよひつひ
 石壁と立竹おれ車をくつて

地を花の名くおれまの下の
 まの数をはくくくくくくくくく
 さねつらうりつらうりつらうりつ
 の只もさうりつらうりつらうりつ
 とつらうりつらうりつらうりつ
 らららららららららららららら
 とららららららららららららら
 くらくらくらくらくらくらくら
 ろろろろろろろろろろろろろ
 て世のあきらめとあきらめとあきら

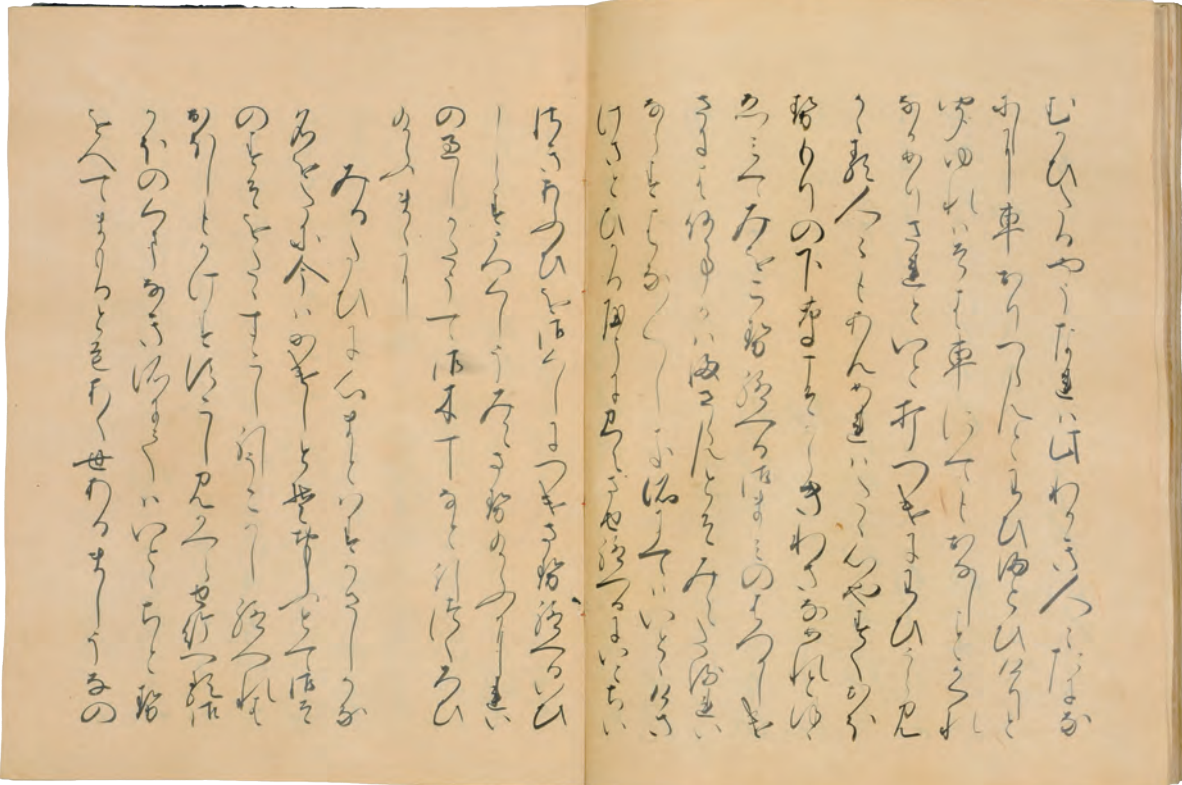
まつちのあきらめとあきらめとあきらめ
 ちとつらうりつらうりつらうりつ
 らららららららららららららら
 はつらうりつらうりつらうりつ
 中つらうりつらうりつらうりつ
 おれらららららららららららら
 きららららららららららららら
 なる事しはふたなりつらみよひ
 なる事しはふたなりつらみよひ

はあはれとあきらめとあきらめとあきらめ
 つらうりつらうりつらうりつ
 人のみつらうりつらうりつ
 ぬらうりつらうりつらうりつ
 のみつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ
 つらうりつらうりつらうりつ



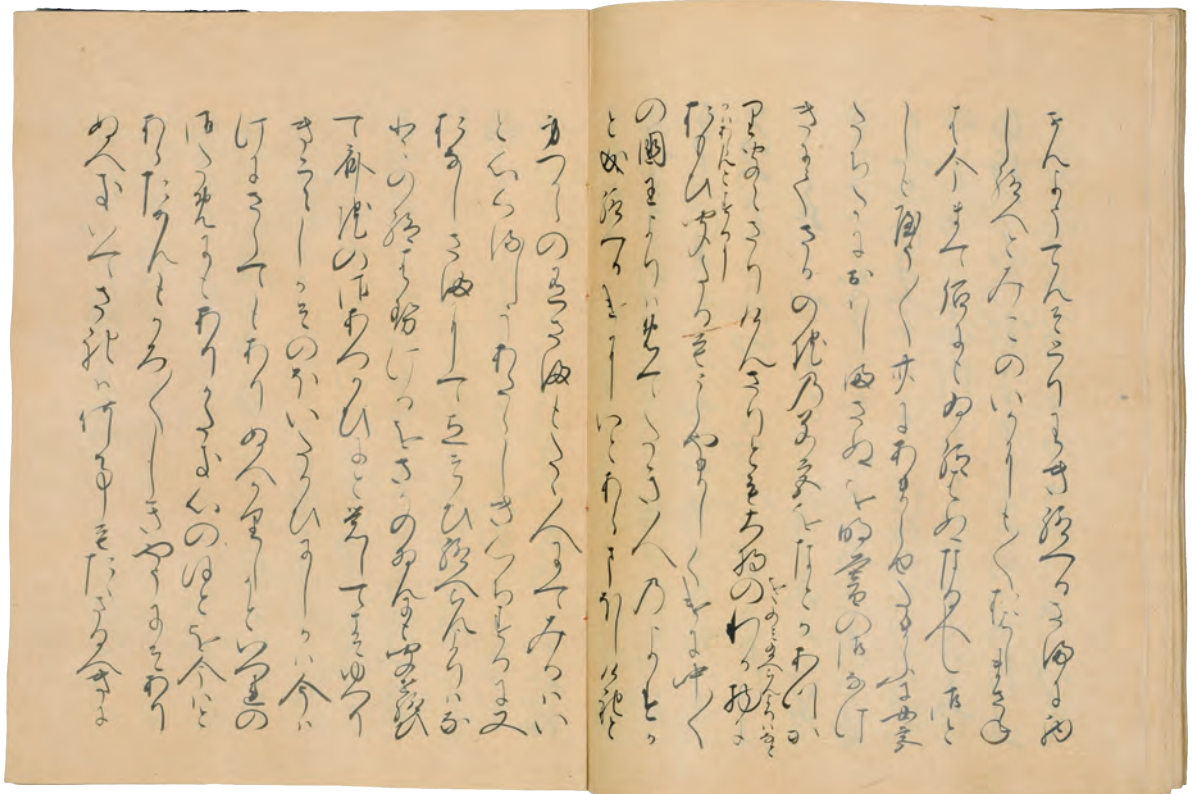
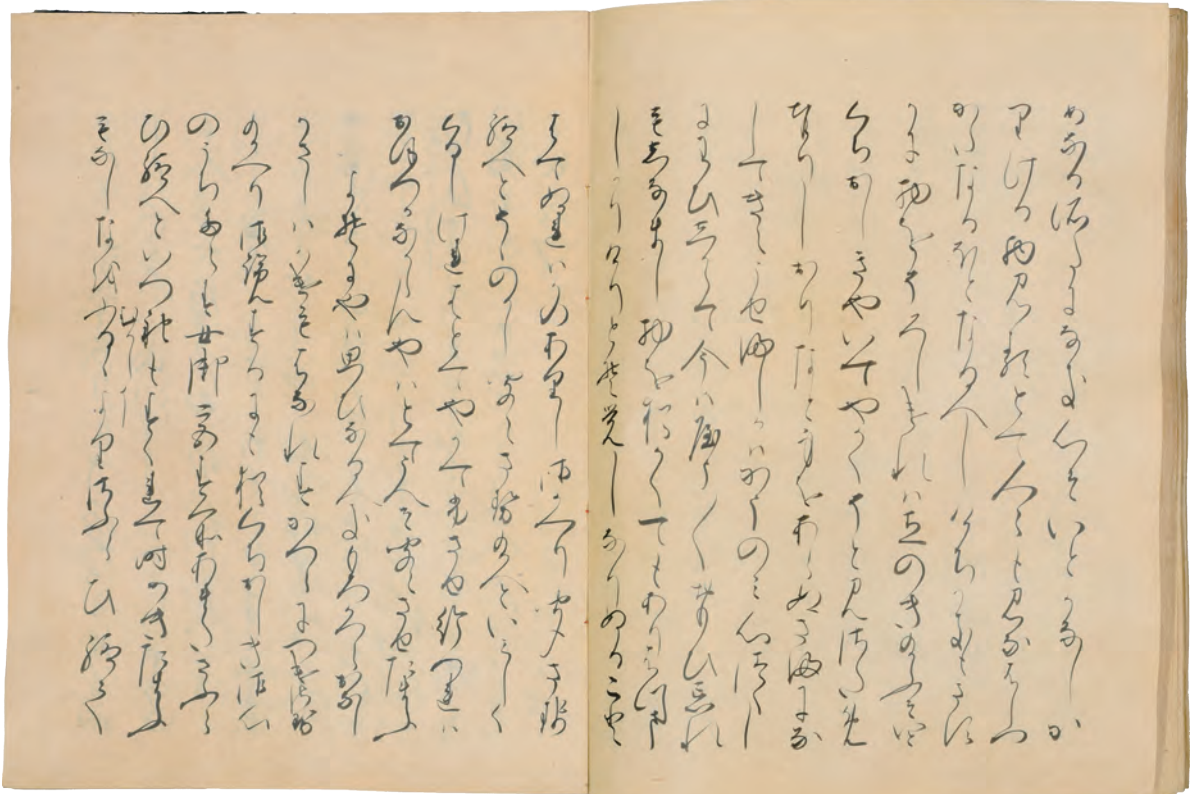
130 オ

129 ウ



131 オ

130 ウ



の西下をばあえ妙極く昔よりこの
世の西へより有りてはあえまひに
まぬくつひきつやまは正ん世もま
脚にちりつらつりつりつりつり
よもつひなるけんのれんを
しゆしつとばあえ妙極く昔より
まの西もまぬけんと思ひつり
わくつひふんちんちんちんちん
かんとらつりつりつりつりつり
いつてくつらつりつりつりつり

トトわく火中へつりつりつりつり
人のまへあまよりつりつりつり
らつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり
りつりつりつりつりつりつり

あつりつりつりつりつりつり
よつりつりつりつりつりつり
えつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり

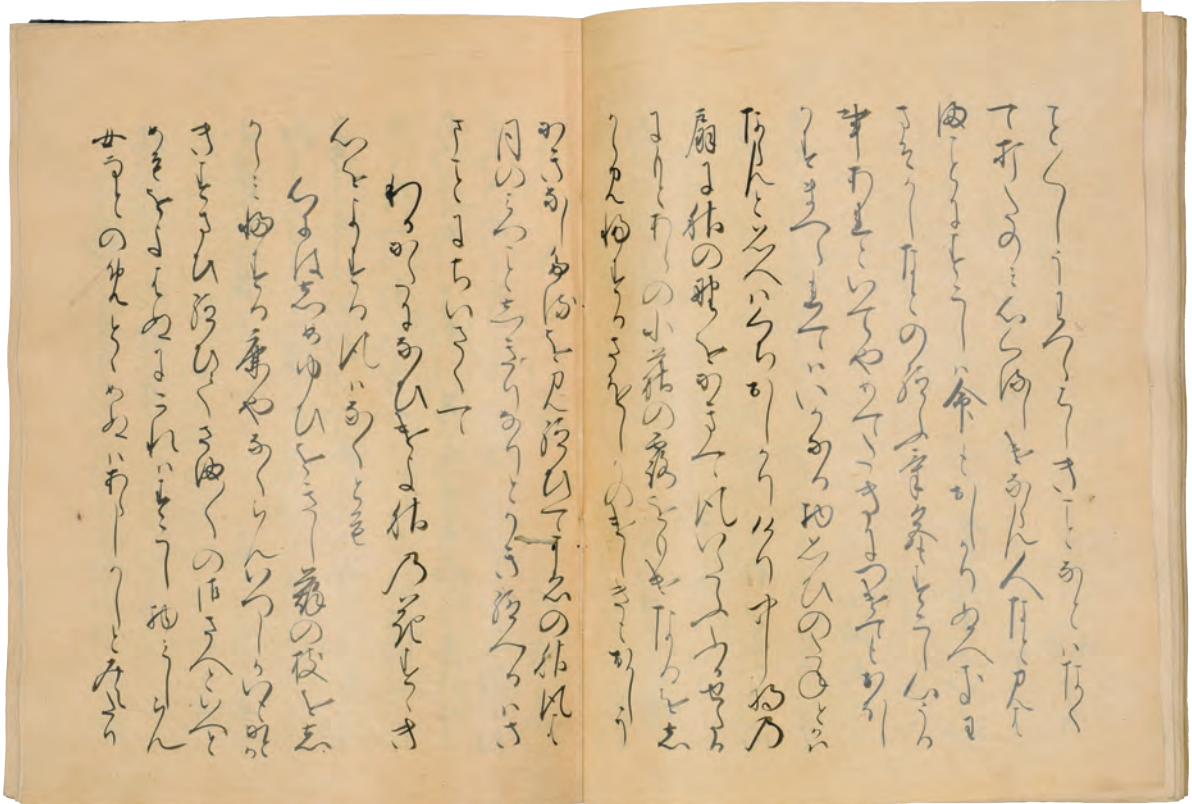
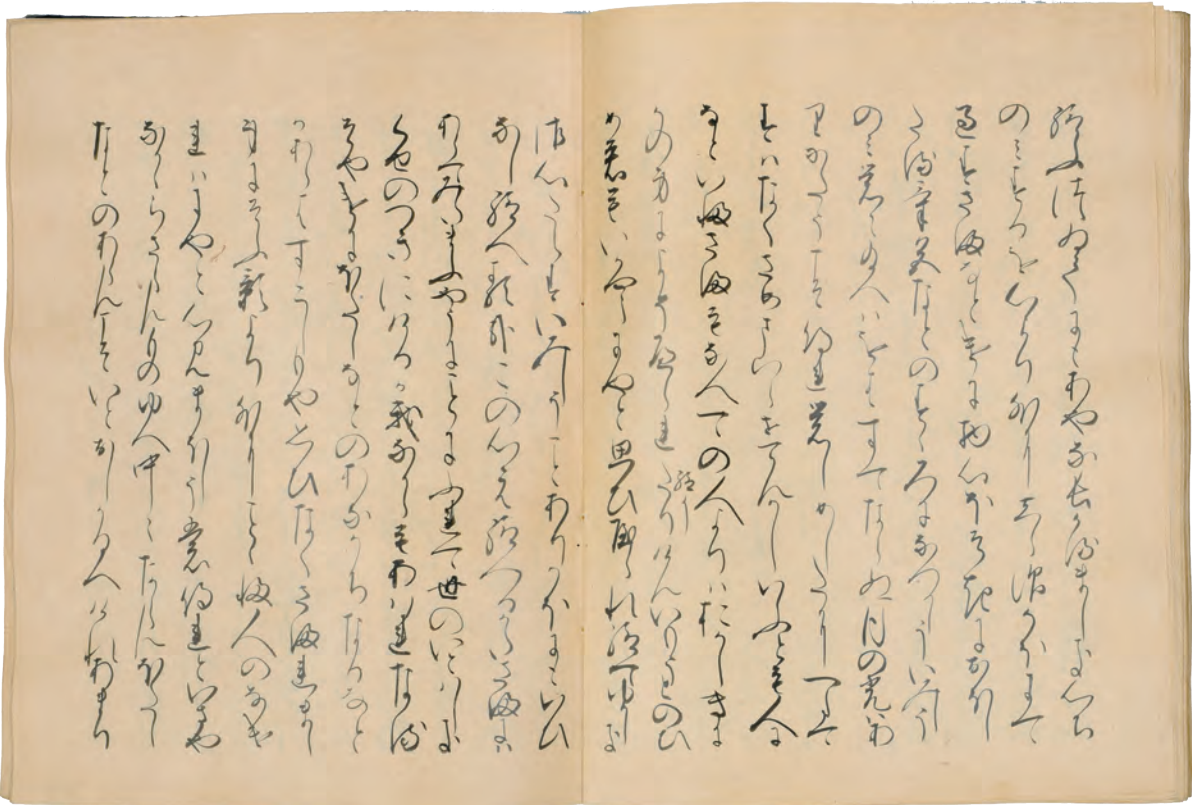
あつりつりつりつりつりつり
よつりつりつりつりつりつり
えつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり
れつりつりつりつりつりつり

おのゝこゝろとておのゝこゝろの
人へさすていれぬらんらんらんらん
それとまゝけつ入道のあゝわんらんらん
もつりひいへつらまゝ始のいへつら
おのゝこゝろとておのゝこゝろの
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら

おのゝこゝろとておのゝこゝろの
人へさすていれぬらんらんらんらん
それとまゝけつ入道のあゝわんらんらん
もつりひいへつらまゝ始のいへつら
おのゝこゝろとておのゝこゝろの
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら

おのゝこゝろとておのゝこゝろの
人へさすていれぬらんらんらんらん
それとまゝけつ入道のあゝわんらんらん
もつりひいへつらまゝ始のいへつら
おのゝこゝろとておのゝこゝろの
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら

おのゝこゝろとておのゝこゝろの
人へさすていれぬらんらんらんらん
それとまゝけつ入道のあゝわんらんらん
もつりひいへつらまゝ始のいへつら
おのゝこゝろとておのゝこゝろの
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら
いへつらまゝ始のいへつら



一 宿りてあはれんやいそぎえんこねあかり
しとこみ路へいづくその下きあてこの
定まていひとくくよといゆめあては
れしよふらんすくくわましくいり路へま
よわびつ一きまきさうりよよとくわら
けりまうてあはれとくわらひのひひ
まは二うららりわりてのすねがとよお
つぎあつさあまえとくまはとあまはれ
とりのあきれたていひいひてんわねん
の小ねまふていひいひのまはとあまはれあひ

一 宿りてあはれんやいそぎえんこねあかり
しとこみ路へいづくその下きあてこの
定まていひとくくよといゆめあては
れしよふらんすくくわましくいり路へま
よわびつ一きまきさうりよよとくわら
けりまうてあはれとくわらひのひひ
まは二うららりわりてのすねがとよお
つぎあつさあまえとくまはとあまはれ
とりのあきれたていひいひてんわねん
の小ねまふていひいひのまはとあまはれあひ

九月はなごの代の通えあつた路行
ゆれば路のまへとらとせはせ路てや
ふいあつてあつた路のまへとらとせは
まはれとくわらひのひひまはとあまは
れしよふらんすくくわましくいり路へま
よわびつ一きまきさうりよよとくわら
けりまうてあはれとくわらひのひひ
まは二うららりわりてのすねがとよお
つぎあつさあまえとくまはとあまはれ
とりのあきれたていひいひてんわねん
の小ねまふていひいひのまはとあまはれあひ

九月はなごの代の通えあつた路行
ゆれば路のまへとらとせはせ路てや
ふいあつてあつた路のまへとらとせは
まはれとくわらひのひひまはとあまは
れしよふらんすくくわましくいり路へま
よわびつ一きまきさうりよよとくわら
けりまうてあはれとくわらひのひひ
まは二うららりわりてのすねがとよお
つぎあつさあまえとくまはとあまはれ
とりのあきれたていひいひてんわねん
の小ねまふていひいひのまはとあまはれあひ

馬鹿の心……と、その……の……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……

146 オ

……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……

145 ウ

……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……

147 オ

……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……
 ……と、……

146 ウ

何れにせよ... 命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと...

命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと...

命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと...

命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと... 命は... 衣のつまら... ちと...

あつちりしゆはとせひ行く道は
 けしきやせりしにるもやをぬくと
 せりてゆくはせりてきりてゆく
 今よりわたりて井てはたきりて
 きぬ一おまよひにのちまたいあはれ
 のころし一せりてゆく一ぬりてあはれ
 思ひかゝりてゆく一ぬりてあはれ
 こととよよよ一けしきやせりてゆく
 んかろ一てえきれあはれきぬゆつとわく
 ちりりあはれ一せりてあはれわあはれ

161 ウ

きのく人てくよはつたやまりゆいけ
 今余はわりてさうせりてゆく一もを
 んりてせりてゆく一せりてあはれ
 ぬりてあはれぬりのま人のたまはかり
 んてあはれぬりてあはれぬりてあはれ
 いてくえきけりぬりてあはれぬり
 わるも一あはれぬりてあはれぬり
 んりてあはれぬりてあはれぬり
 翠川一てゆくてあはれぬりてあはれ
 石渡一てゆくてあはれぬりてあはれ

162 オ

けしきやせりしにるもやをぬくと
 せりてゆくはせりてきりてゆく
 今よりわたりて井てはたきりて
 きぬ一おまよひにのちまたいあはれ
 のころし一せりてゆく一ぬりてあはれ
 思ひかゝりてゆく一ぬりてあはれ
 こととよよよ一けしきやせりてゆく
 んかろ一てえきれあはれきぬゆつとわく
 ちりりあはれ一せりてあはれわあはれ

162 ウ

きのく人てくよはつたやまりゆいけ
 今余はわりてさうせりてゆく一もを
 んりてせりてゆく一せりてあはれ
 ぬりてあはれぬりのま人のたまはかり
 んてあはれぬりてあはれぬりてあはれ
 いてくえきけりぬりてあはれぬり
 わるも一あはれぬりてあはれぬり
 んりてあはれぬりてあはれぬり
 翠川一てゆくてあはれぬりてあはれ
 石渡一てゆくてあはれぬりてあはれ

163 オ

そ我願は幸か不幸か
て交同くしてゆく人ありきや
またしんまの娘のひびくを
らりいこのほはまをひわる
あくくのこをまをくく
きの中はありきや
とまうとまうとまう
はきききききききき
いこのあはれきききき
りりりりりりりりりり

まらあき正抱可なり
あふあふあふあふあふ
りひひひひひひひひひひ
のこころあきこころあき
あきあきあきあきあき
りりりりりりりりりり
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき

てまのんはあはれ
あきあきあきあきあき
らひあきあきあきあき
まのんはあはれ
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき

あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき
あきあきあきあきあき

わさとのくらまはゆめあかり何の
 ましうしうらなとそとてゆたり
 さくおのへはゆんじとてくさくさゆ
 被り社をまじまじとてくさくさ
 せうらとてくさくさいくさくさい
 風のこぼきくらゆめとてくさくさ
 まいほごのうらりのうらりとてくさくさ
 きあつはきあつあつとてくさくさ
 の物まよふとてくさくさいくさくさい
 あかりとてくさくさいくさくさい

170ウ

たいくさくさいくさくさい
 うらりとてくさくさいくさくさい
 つらまきくさくさいくさくさい
 あかりとてくさくさいくさくさい
 のくさくさいくさくさいくさくさい
 りんやめをくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい

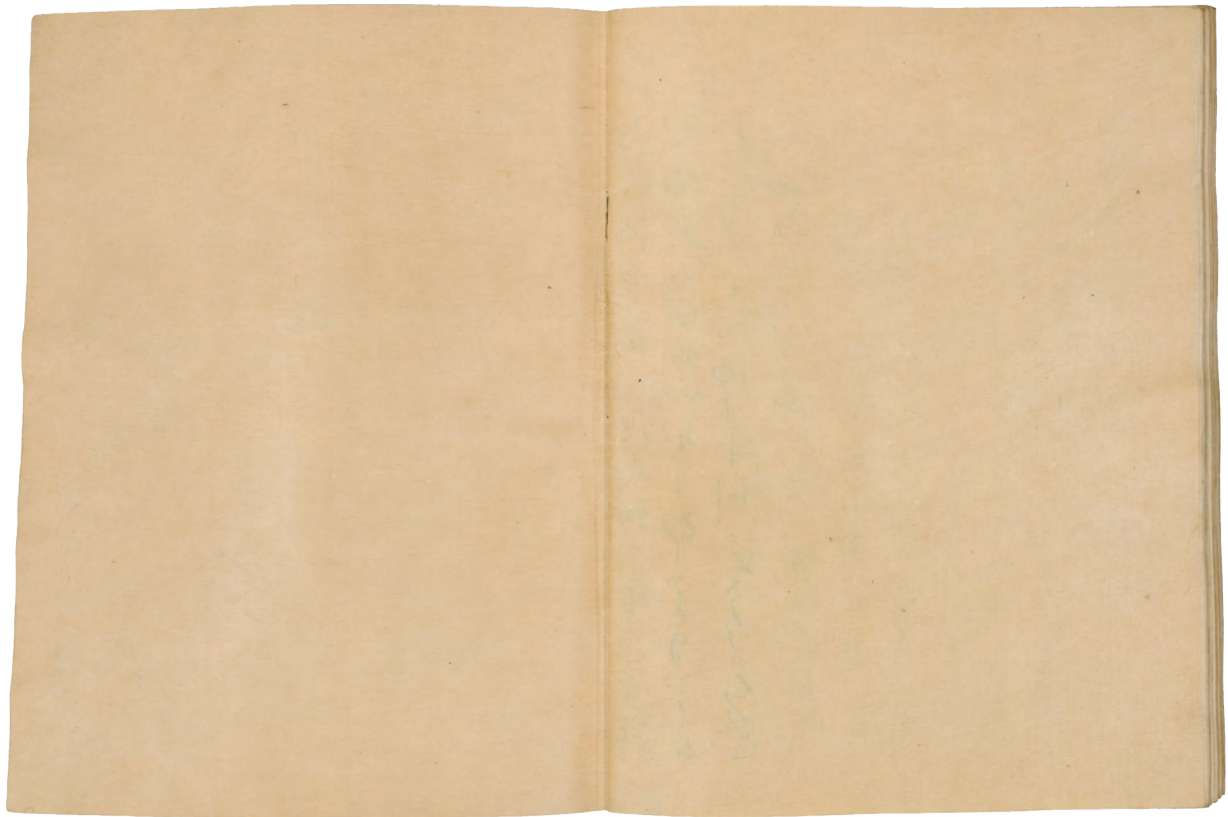
171オ

くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 打とてくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい

171ウ

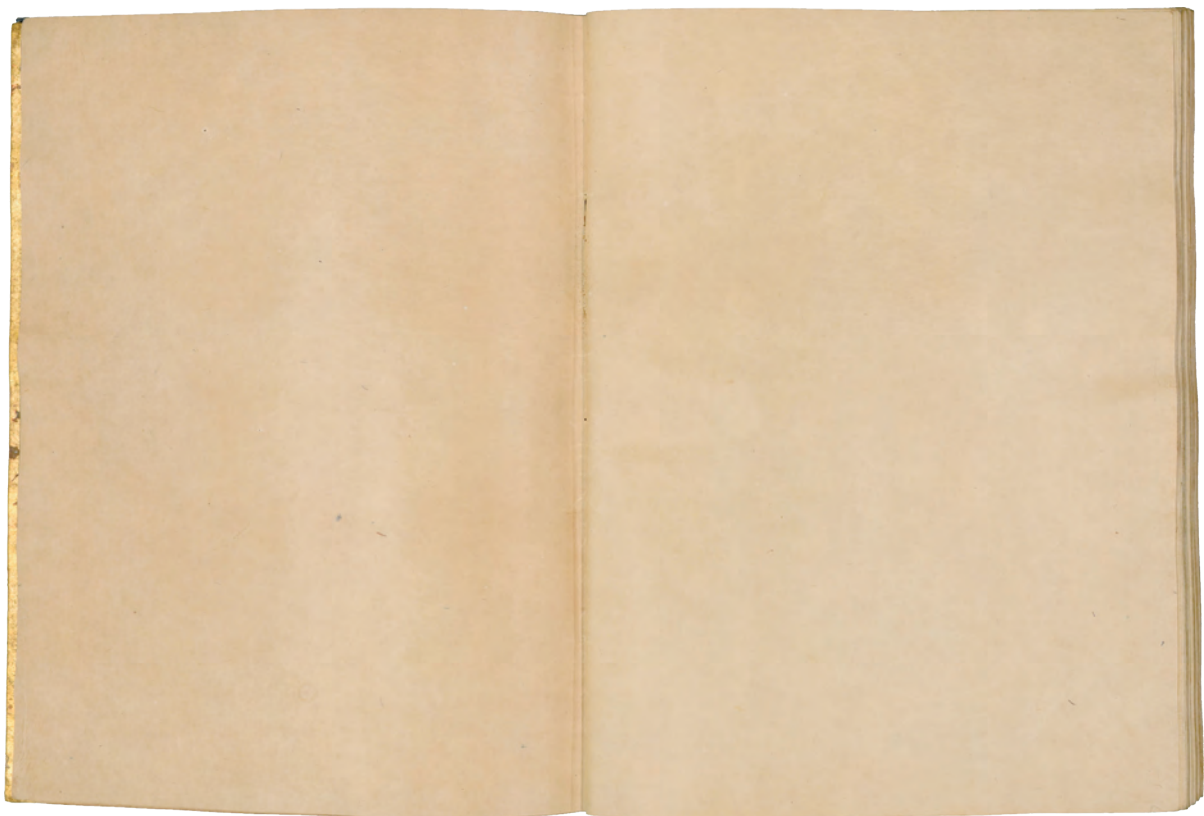
風のこぼきくらゆめとてくさくさ
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい
 くさくさいくさくさいくさくさい

172オ



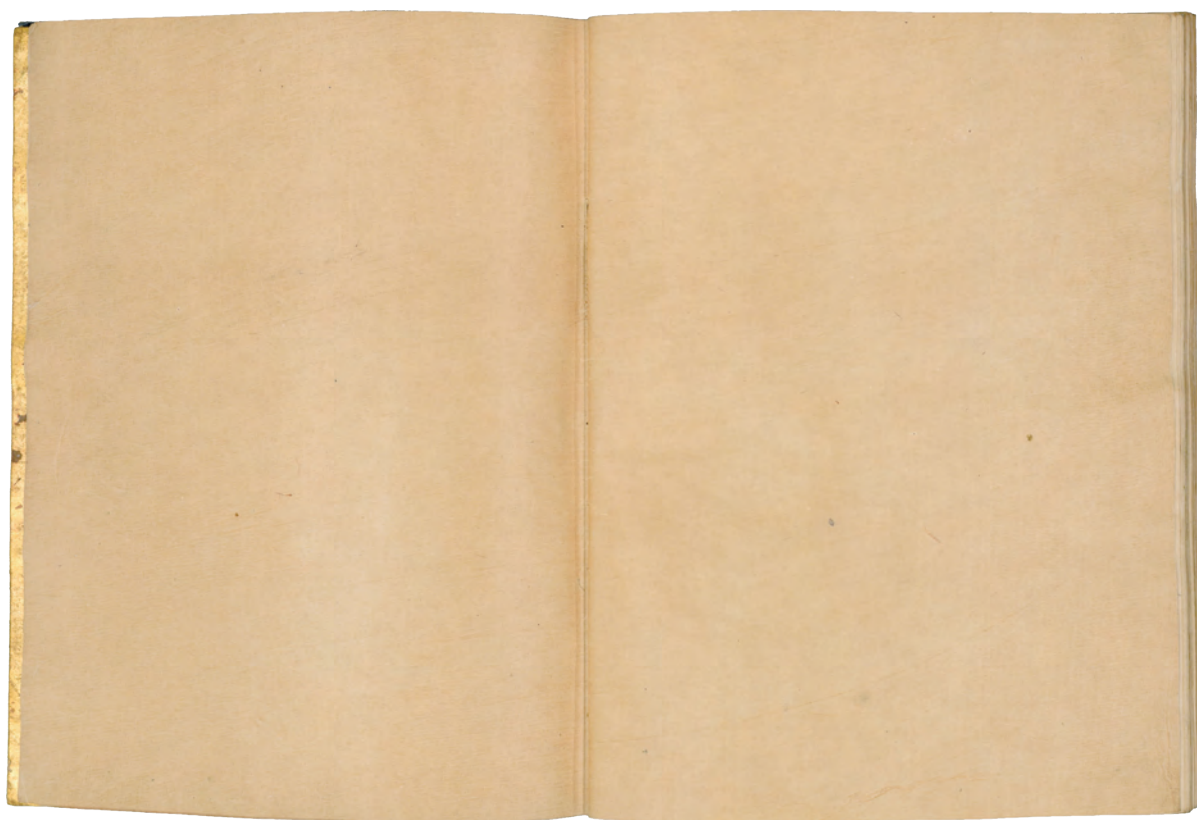
遊紙 1 表

172 ウ



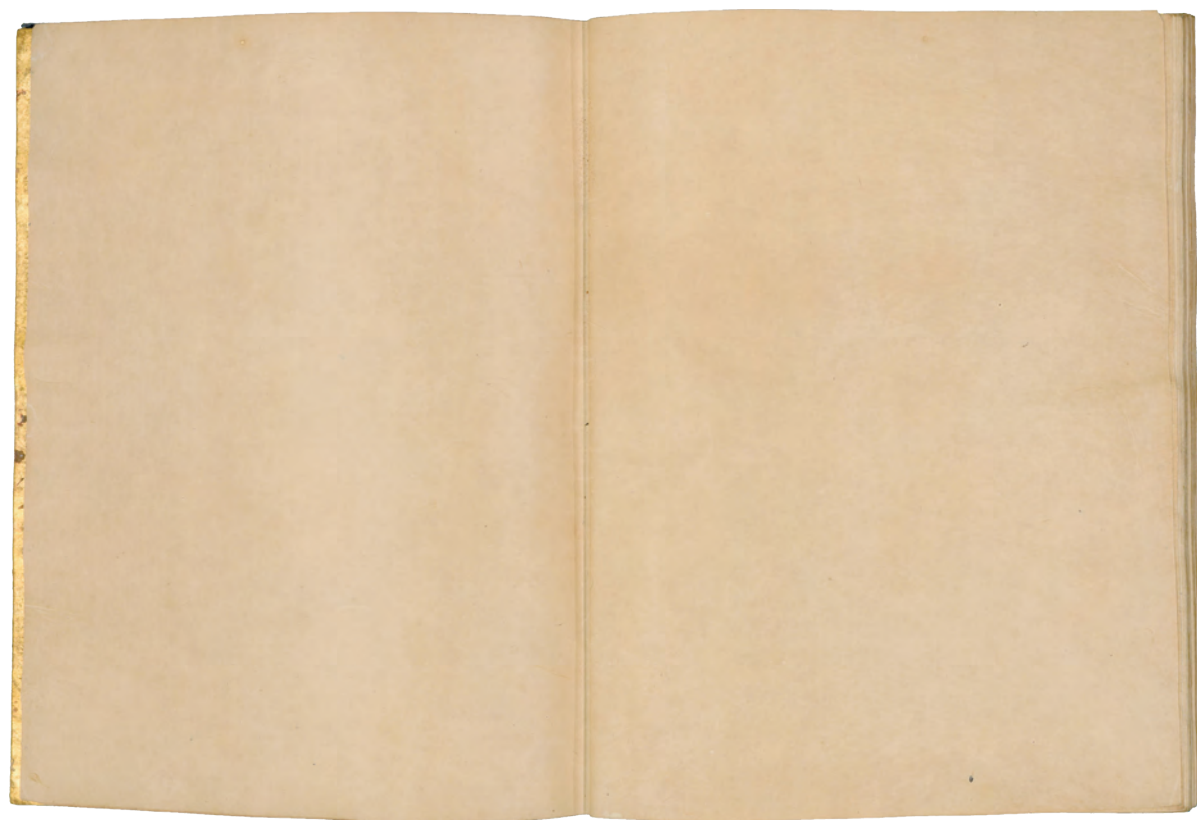
遊紙 2 表

遊紙 1 裏



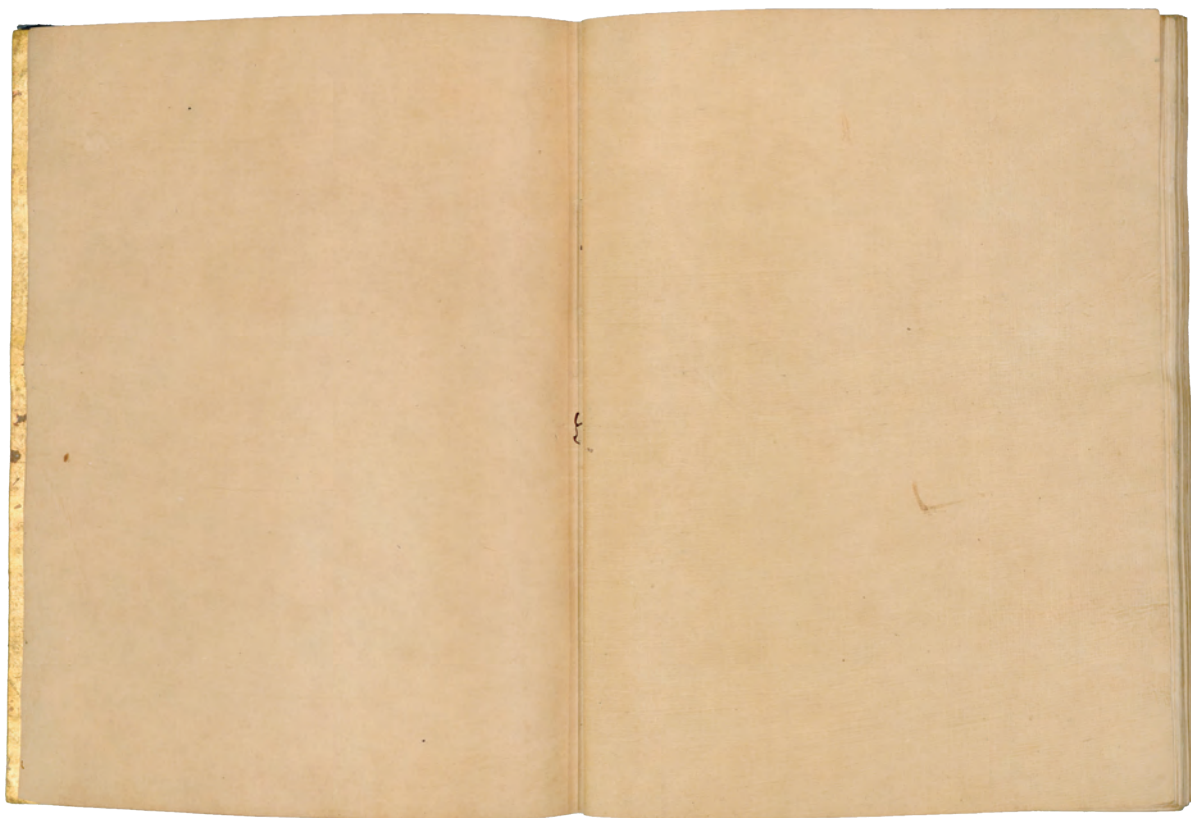
遊紙 3 表

遊紙 2 裏



遊紙 4 表

遊紙 3 裏



遊紙 5 表

遊紙 4 裏

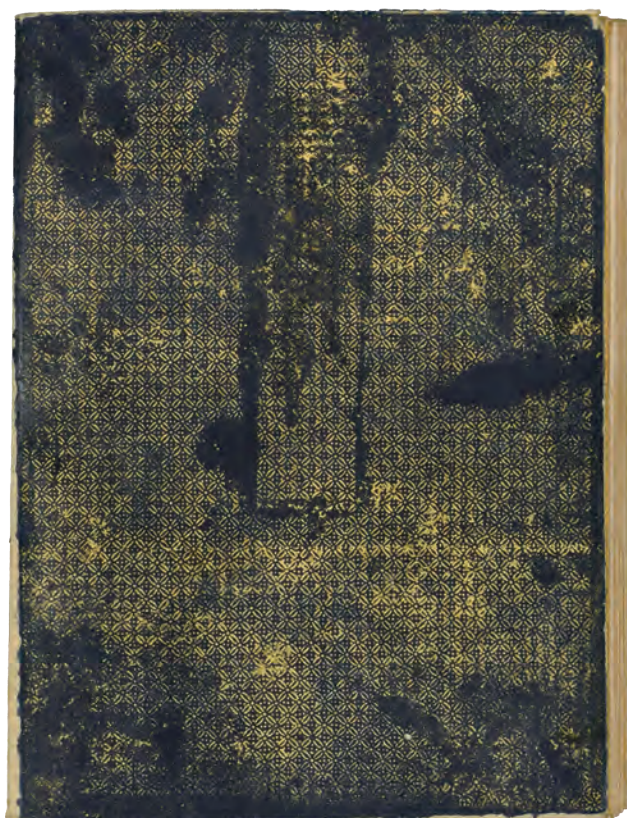


裏表紙見返し

遊紙 5 裏



剥離した裏表紙



裏表紙